

株式会社タムラ製作所

2020年3月期 決算概要



TAMURA

Your One and Only Company

1. 2020年3月期 決算概要
2. 2021年3月期 通期業績予想
3. 新型コロナの影響と今後のビジョン

【付録】参考資料

1. 2020年3月期 決算概要

損益計算書（要約）

- ◆ 米中貿易摩擦の長期化により、産業機械や自動車関連市場が年間を通して低調に推移
- ◆ 年度終盤には新型コロナウイルスの感染が世界に拡大し、多くの経済活動が停滞
- ◆ 前期の純利益は特別利益により高水準。当期はコロナ影響を踏まえた繰延税金資産の取り崩しもあり大幅減

[百万円]

		2019.3期			2020.3期			2020.3期	
		実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比	直近予想*	構成比
売上高		87,008	100.0%	+1.7%	79,655	100.0%	▲8.5%	79,600	100.0%
	売上原価	61,447	70.6%	+3.1%	57,184	71.8%	▲6.9%	-	-
	販管費	20,960	24.1%	+2.1%	20,181	25.3%	▲3.7%	-	-
営業利益		4,600	5.3%	▲14.9%	2,289	2.9%	▲50.2%	2,400	3.0%
経常利益		4,848	5.6%	▲11.5%	2,510	3.2%	▲48.2%	2,300	2.9%
当期純利益		6,397	7.4%	+76.2%	1,024	1.3%	▲84.0%	1,500	1.9%
為替 (円/米ドル)	期中平均	110.02		▲0.57	108.42		▲1.60	106.00	
	期末	110.99		+4.75	108.83		▲2.16	106.00	
1株当たり配当		10.00円		+1.00円	10.00		0.00円	10.00	
配当性向		12.8%		▲7.5pt	80.1%		+67.3pt	55.2%	
ROE		14.3%		+5.3pt	2.2%		▲12.1pt	3.2%	

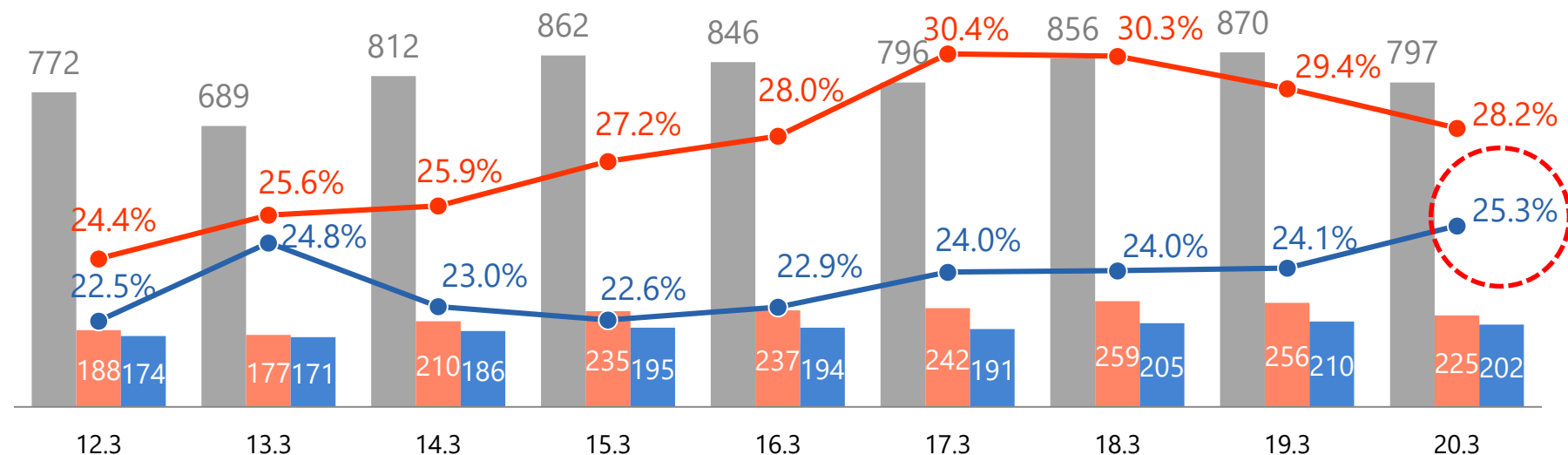
注：2019.3期の当期純利益は損害賠償請求訴訟に基づく和解金を特別利益に計上

* 直近予想欄は、2020年2月5日公表値を記載。新型コロナウイルスの影響は中国を中心としたもので、2月末には収束するものと想定していた。

売上高・粗利・販管費・従業員数の推移

売上高・粗利・販管費

■ 売上高(億円) ■ 粗利(億円) ■ 販管費(億円) ● 粗利率 ● 販管費率

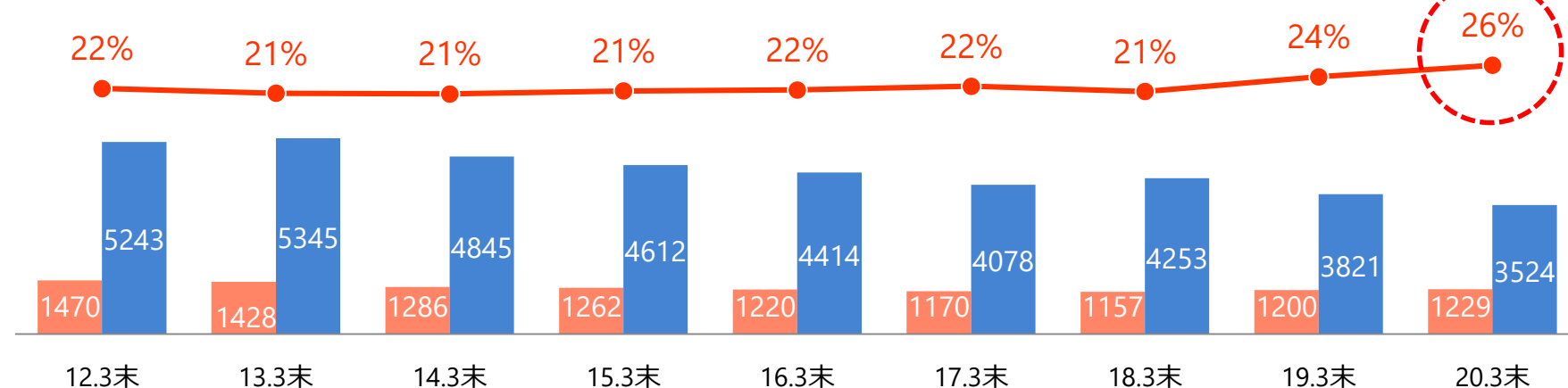


コロナ問題等で販管費増加

国内での生産・開発拡大

従業員数

■ 日本(名) ■ 海外(名) ● 日本比率(%)



合計 6,713名

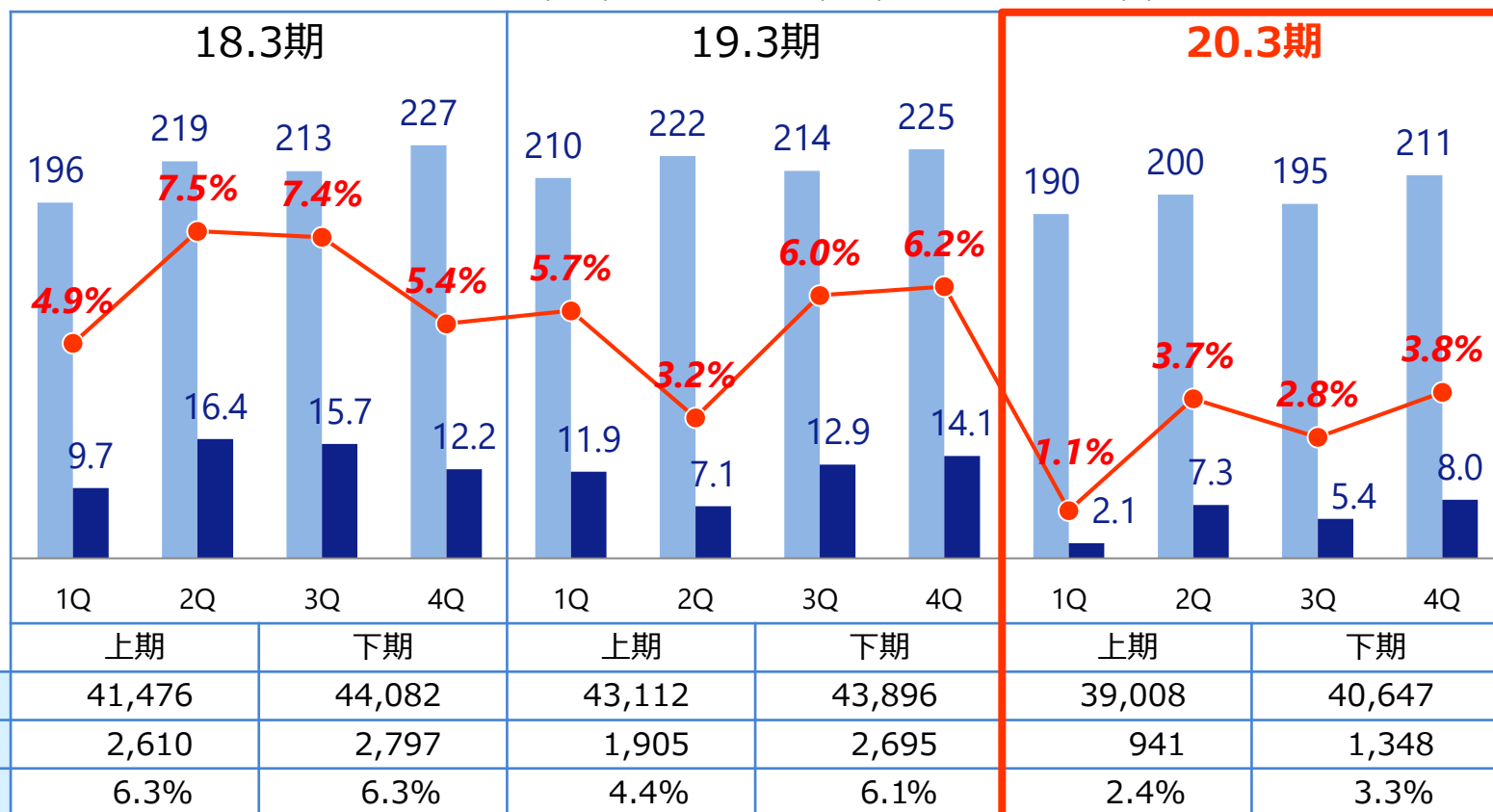
1,960名 (29%) 減少

合計 4,753名

四半期別の売上高・損益

- ◆ 年間を通じて中国市場・産業機械関連の冷え込みで低水準
- ◆ 2Qよりスマートフォン関連が季節変動で伸長
- ◆ 4Qは実装装置・放送機器・自動販売機モジュールなどの期末集中案件が計画に至らず

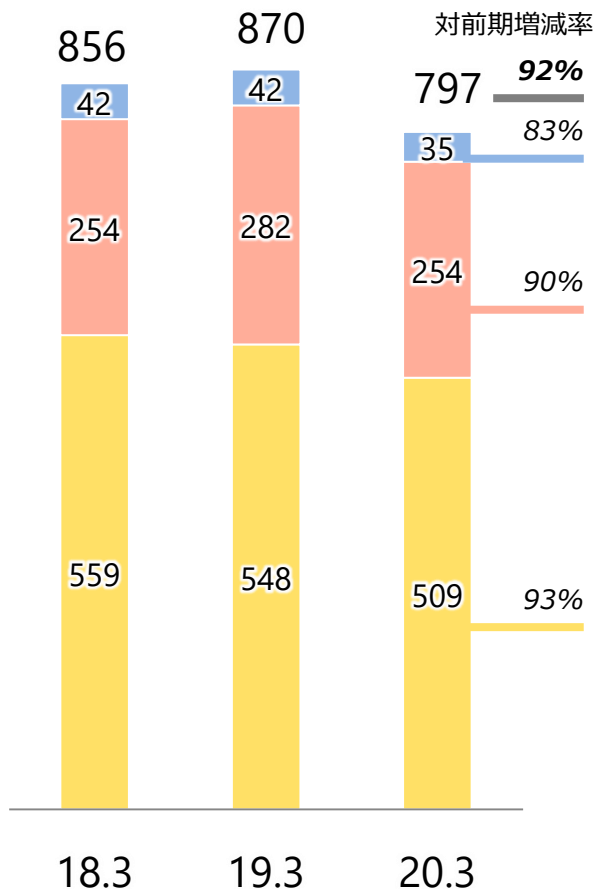
売上高(億円) 営業利益(億円) 営業利益率(%)



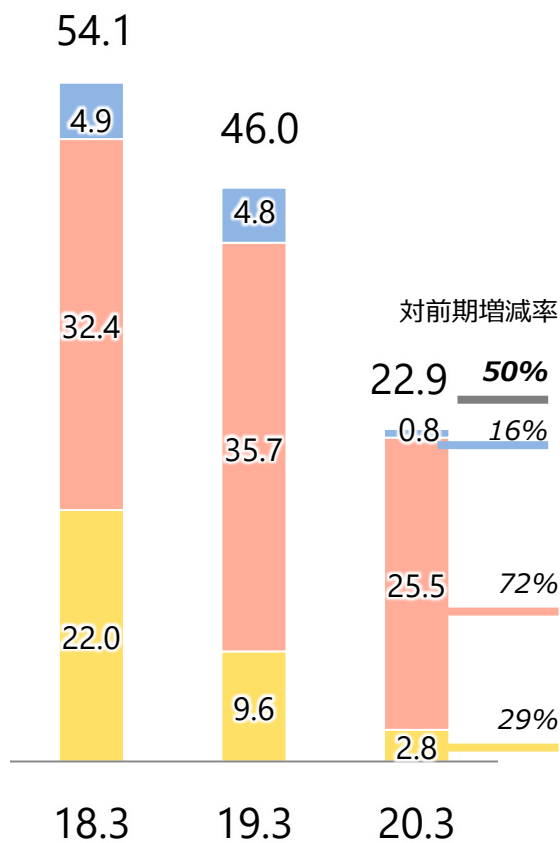
事業部門別の売上高・損益

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

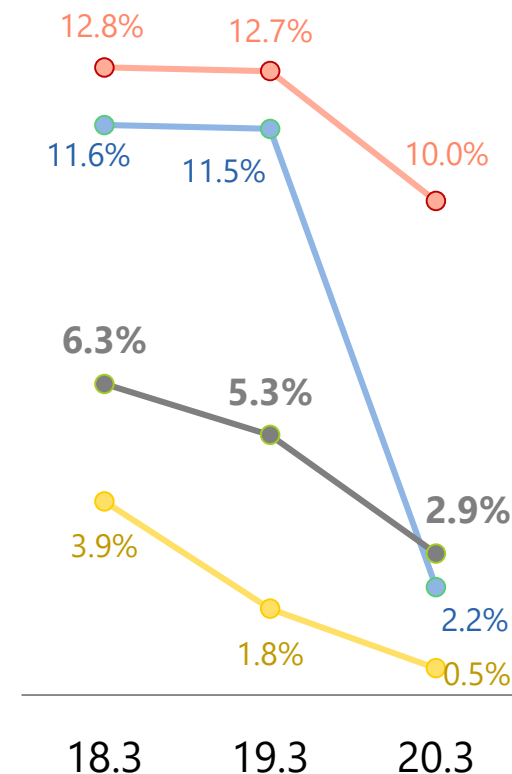
売上高



営業利益



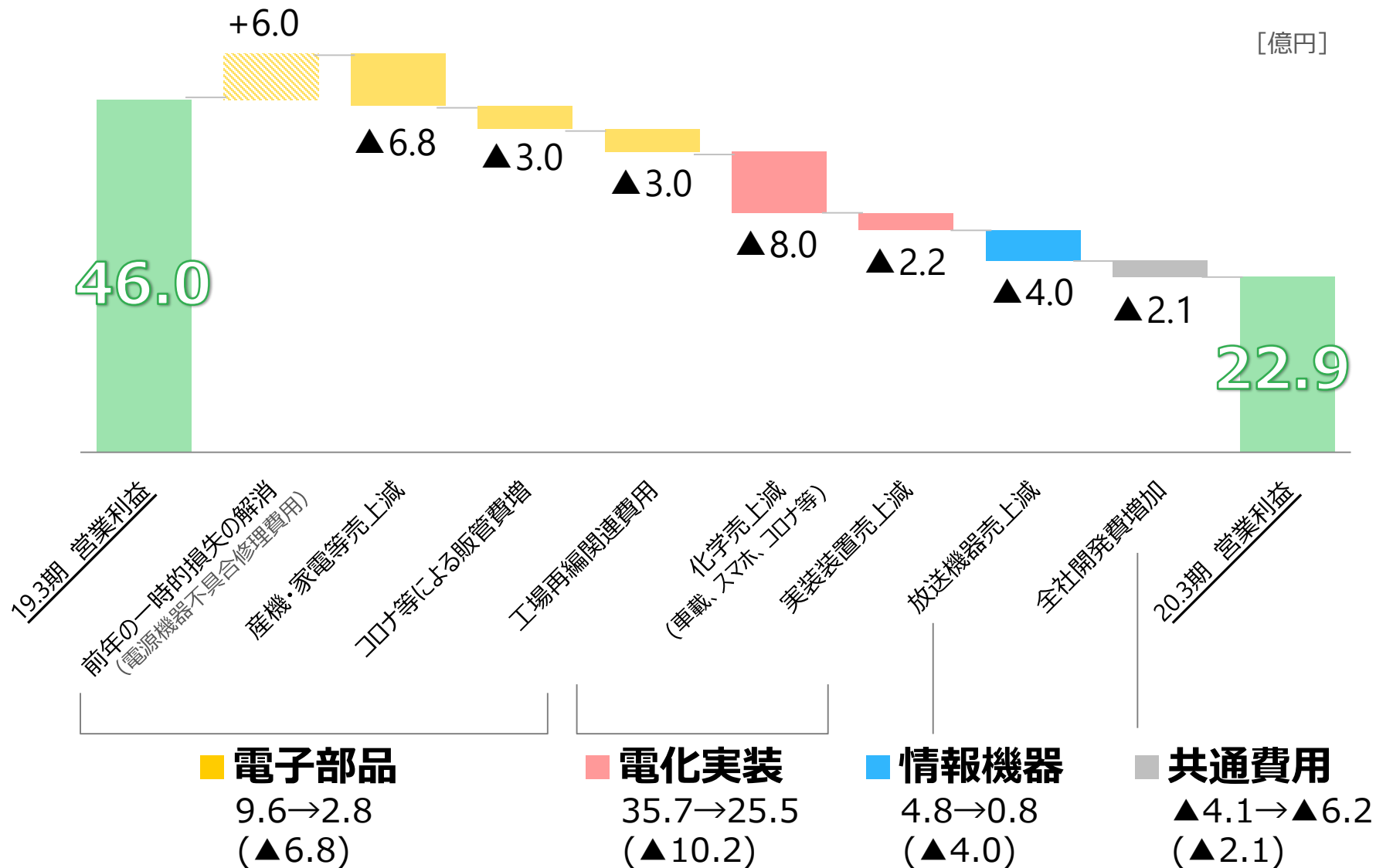
営業利益率



注: 連結消去 (主に全社未来開発費) により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

営業利益増減要因 (19.3期・20.3期の比較)

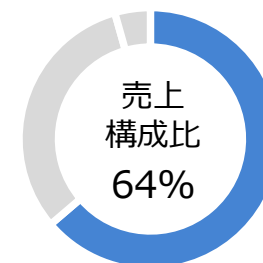
■ 全社営業利益の増減要因 46.0億円→22.9億円 (▲23.1億円)



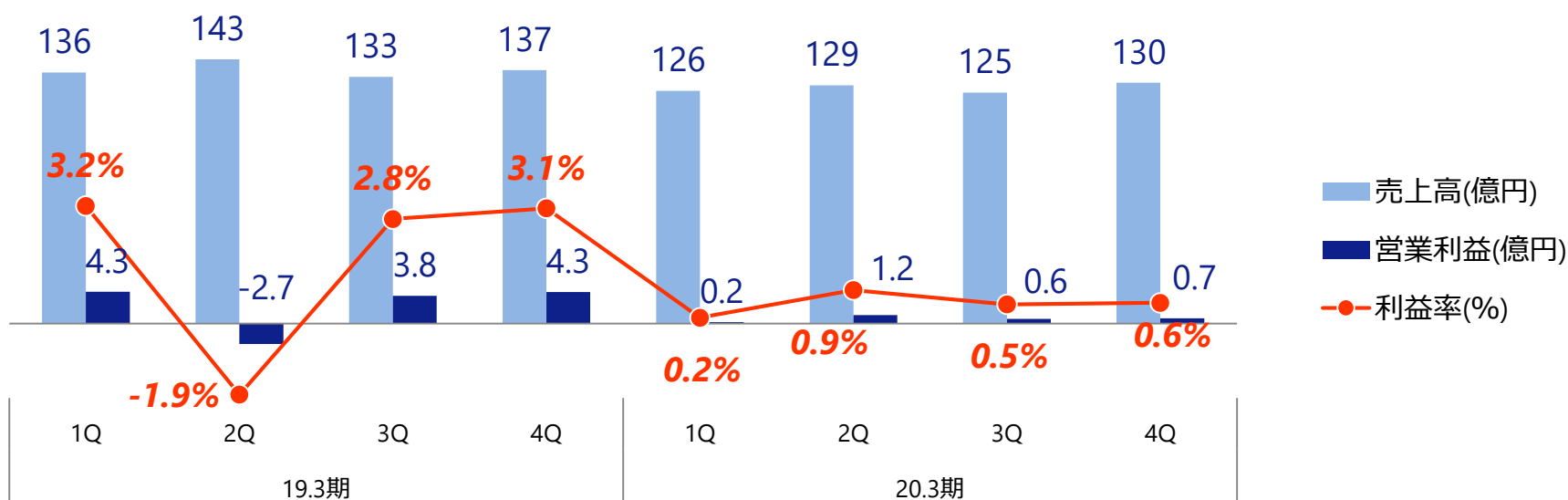
【事業部門別】電子部品関連事業の実績①

- ◆ 産業機械向けのトランス・リアクタ・電流センサなどの需要が期を通して低迷
- ◆ 自動販売機向けLEDモジュールの導入が一部先送り、車載用リアクタは4Qから量産が本格化

[百万円]	19.3期		20.3期		20.3期
	実績	前期比	実績	前期比	直近予想*
売上高	54,794	▲1.9%	50,871	▲7.2%	50,900
営業利益	961	▲56.2%	275	▲71.4%	600
営業利益率	1.8%	▲2.2pt	0.5%	▲1.3pt	1.2%



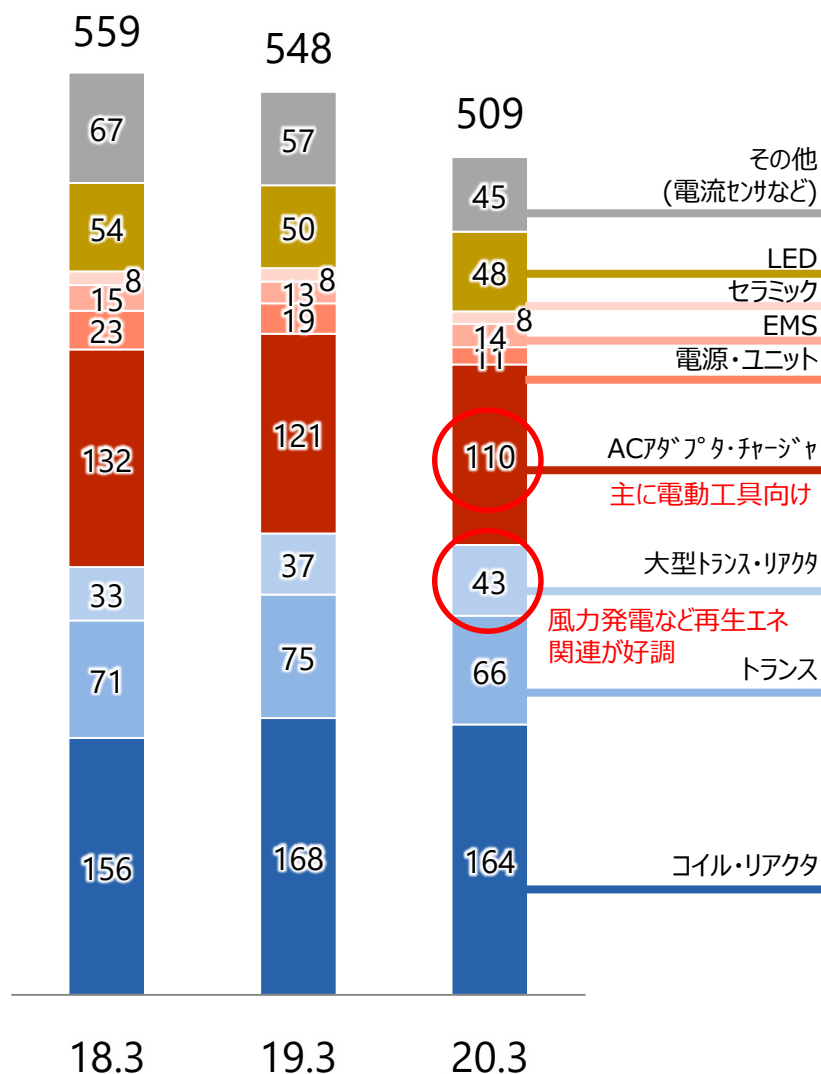
* 直近予想欄は、2020年2月5日公表値を記載



【事業部門別】電子部品関連事業の実績②

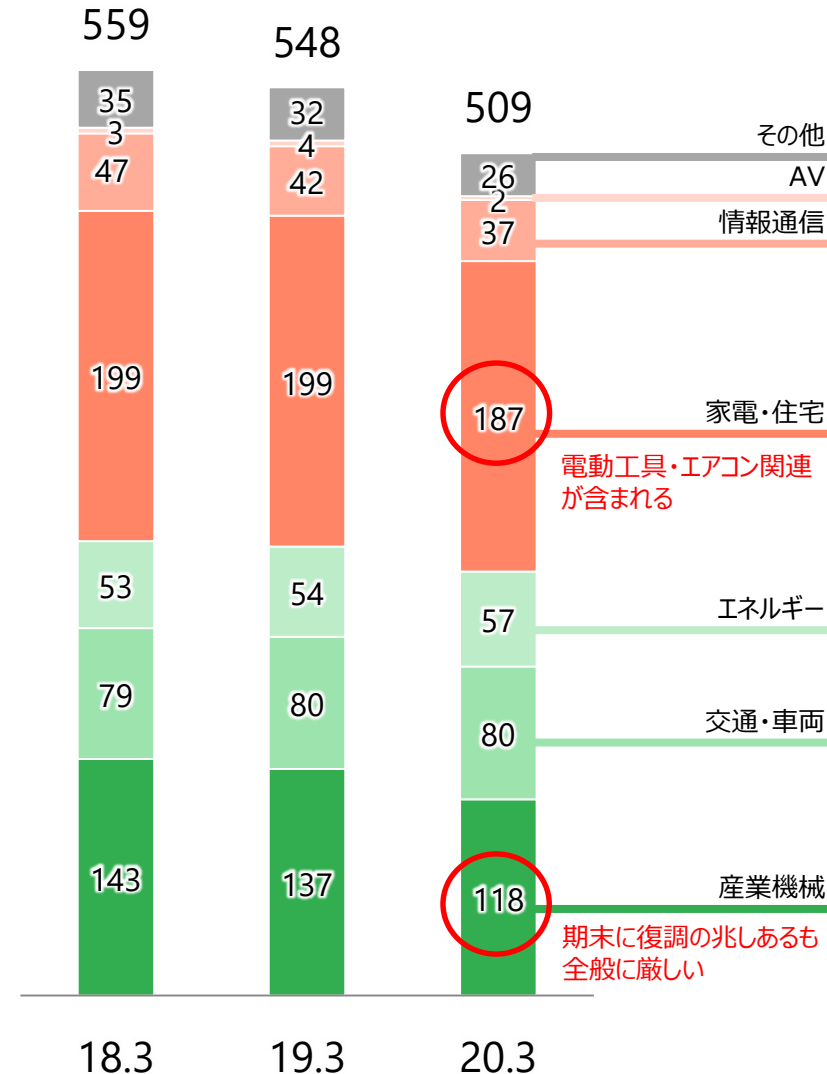
製品別 売上高

[億円]



市場別 売上高

[億円]

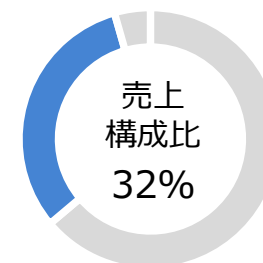


※「その他」に含まれるサーマル事業は2018年10月1日付で事業譲渡完了

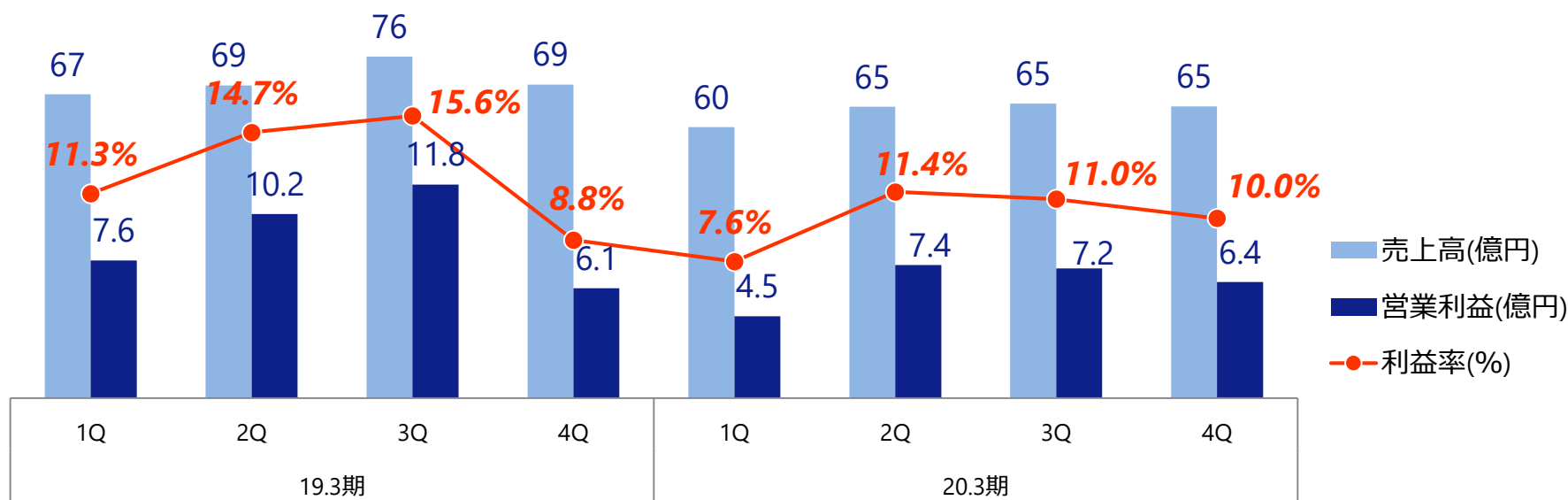
【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績①

- ◆ 電子化学材料は車載向けをはじめ市場全般厳しい。5G端末や基地局向けは堅調ながら全体押し上げならず
- ◆ 実装装置は車載関連を中心とした設備投資の先送りや、コロナ問題による設置遅延により売上減少

[百万円]	19.3期		20.3期		20.3期
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想*
売上高	28,164	+10.7%	25,440	▲9.7%	25,300
営業利益	3,571	+10.1%	2,553	▲28.5%	2,500
営業利益率	12.7%	▲0.1pt	10.0%	▲2.7pt	9.9%

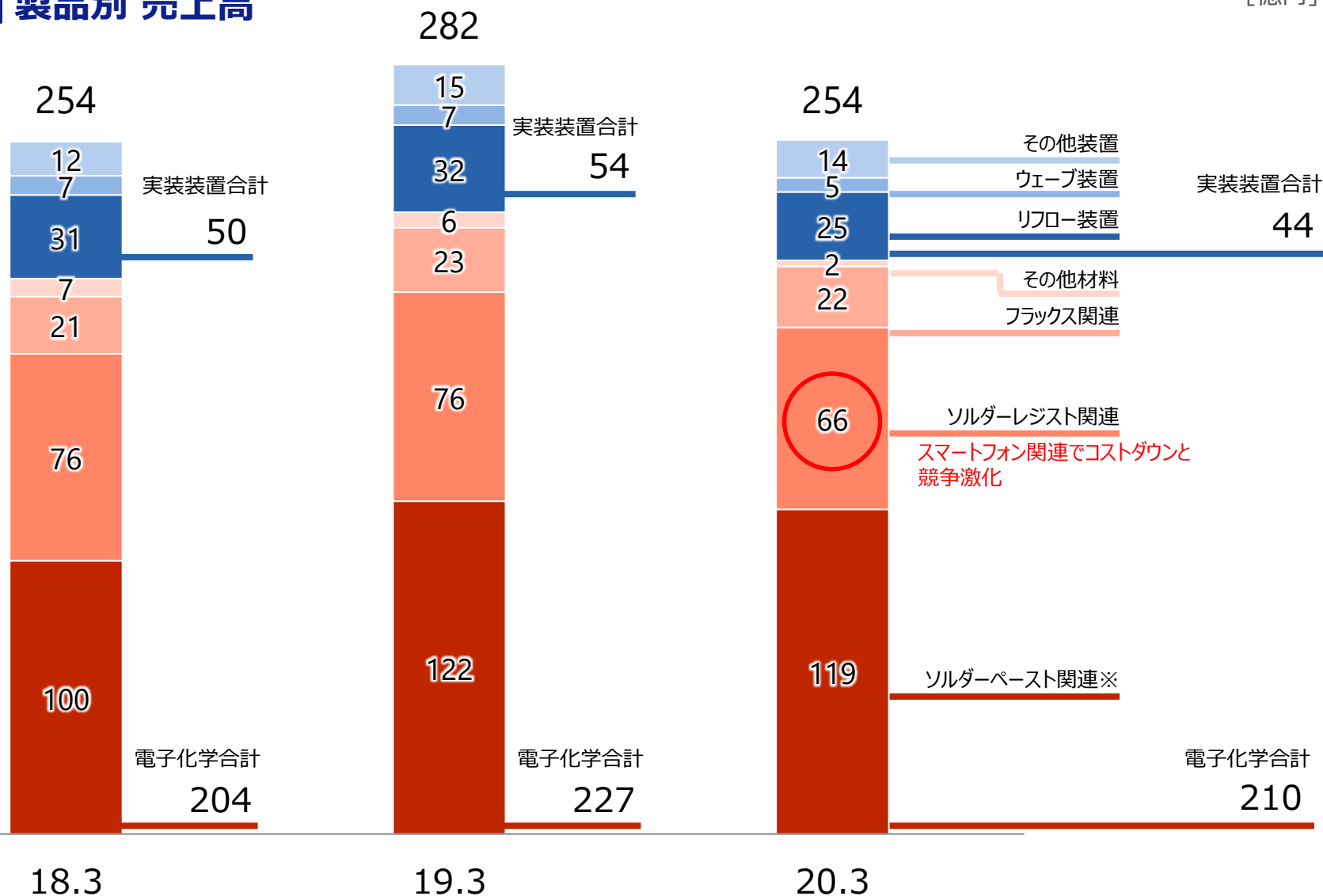


* 直近予想欄は、2020年2月5日公表値を記載



製品別 売上高

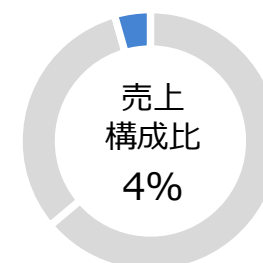
[億円]



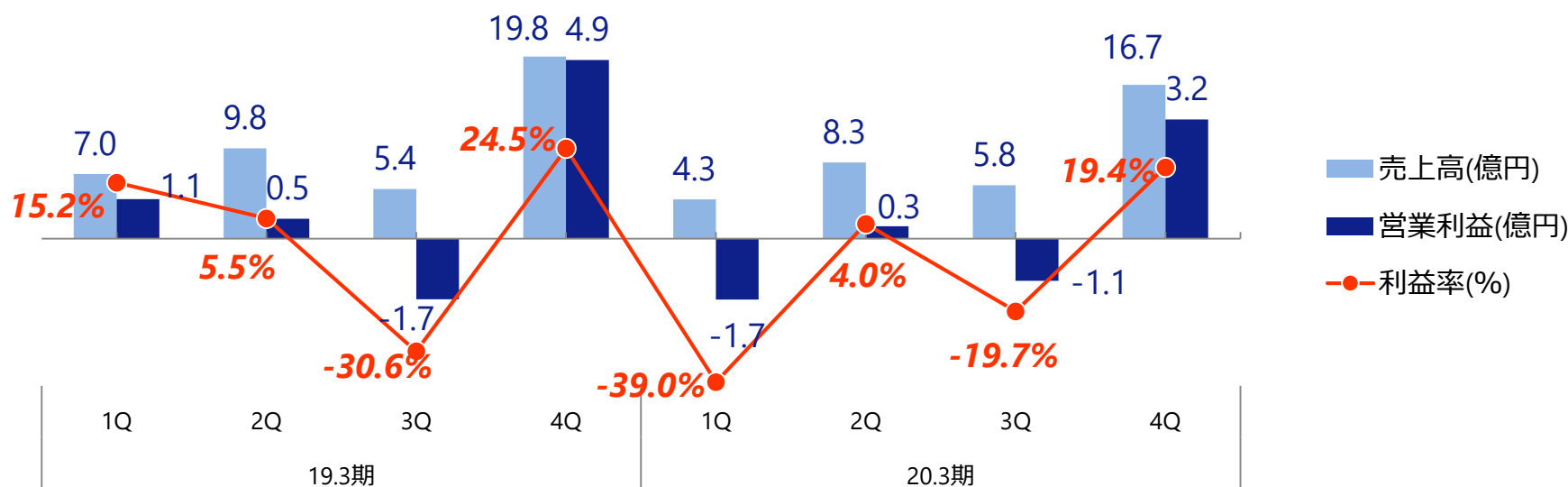
※ソルダーペースト関連は、19.3期より連結子会社化した ドイツ・タイ新拠点の影響で、年間売上約10億円が増加

- ◆ 国際的なスポーツイベントの開催や、放送局の更新需要に向けて、音声調整卓やワイヤレスマイクロホンシステムの売上を計画したが、厳しい市場環境を背景に伸び悩む

[百万円]	19.3期		20.3期		20.3期
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	4,202	▲0.7%	3,499	▲16.7%	3,400
営業利益	481	▲1.8%	76	▲84.1%	0
営業利益率	11.5%	▲0.1pt	2.2%	▲9.3pt	0.0%



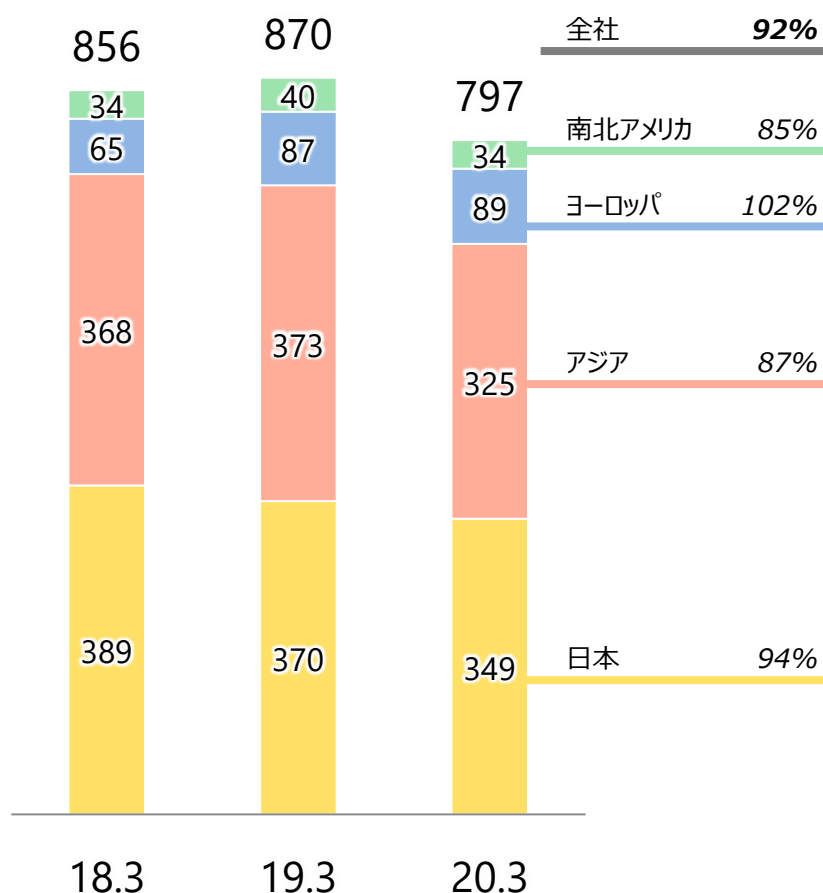
* 直近予想欄は、2020年2月5日公表値を記載



- ◆ アジア（中国）は米中問題やコロナ問題で低調
- ◆ 日本は放送機器や自動販売機関連製品がふるわず減収減益

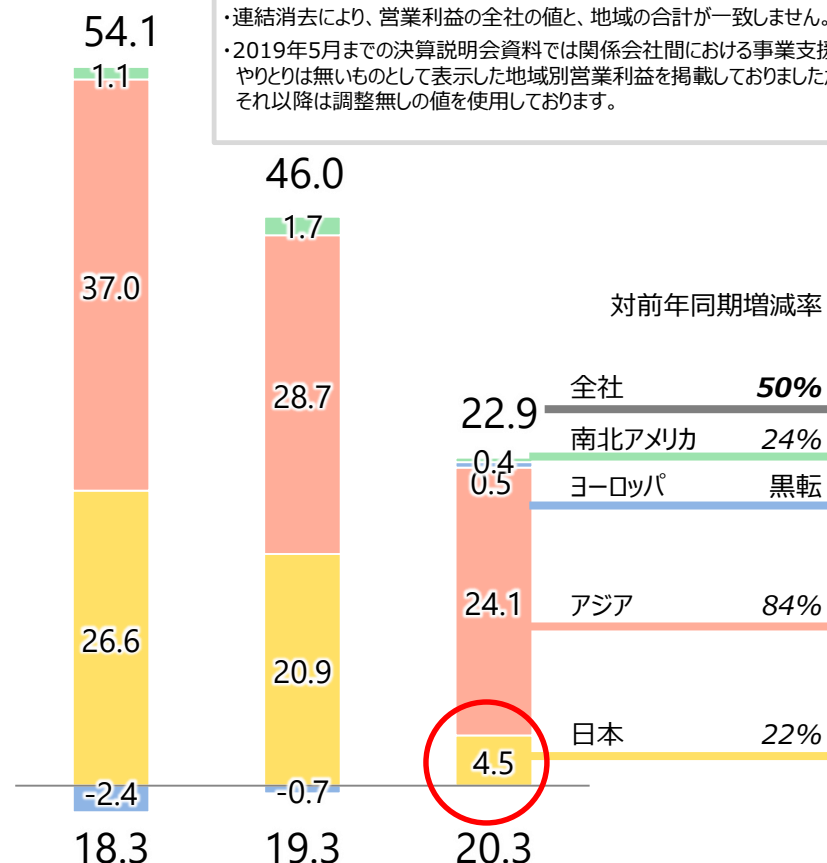
売上高 [億円]

対前年同期増減率



営業利益 [億円]

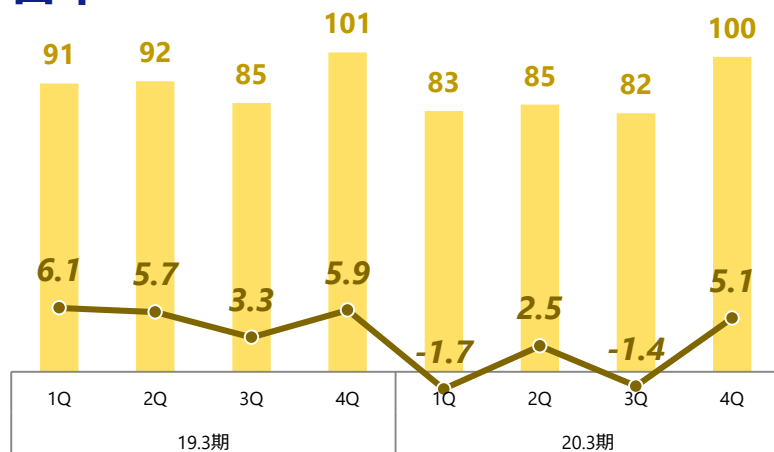
注：
 ・連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。
 ・2019年5月までの決算説明会資料では関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして表示した地域別営業利益を掲載しておりましたが、それ以降は調整無しの値を使用しております。



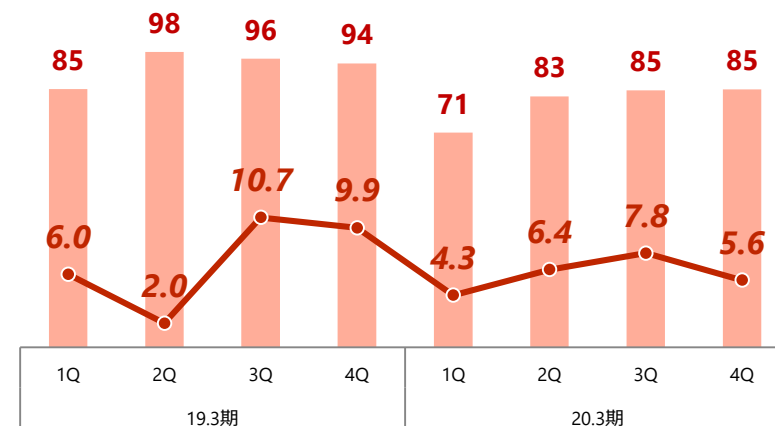
地域別の売上高・損益（四半期推移）

売上高(億円) 営業利益(億円)

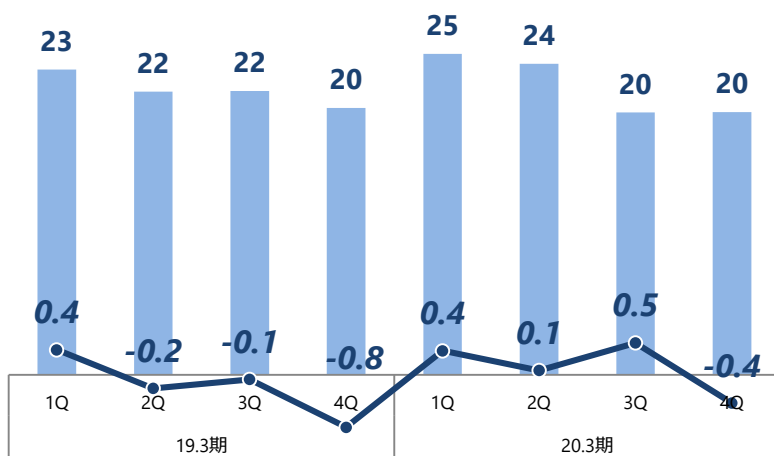
日本



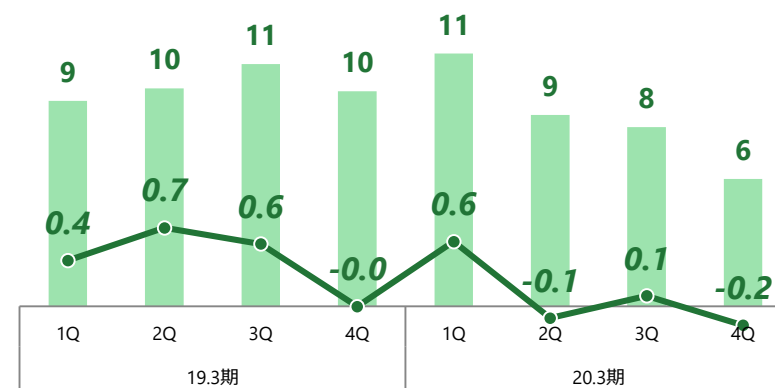
アジア



ヨーロッパ



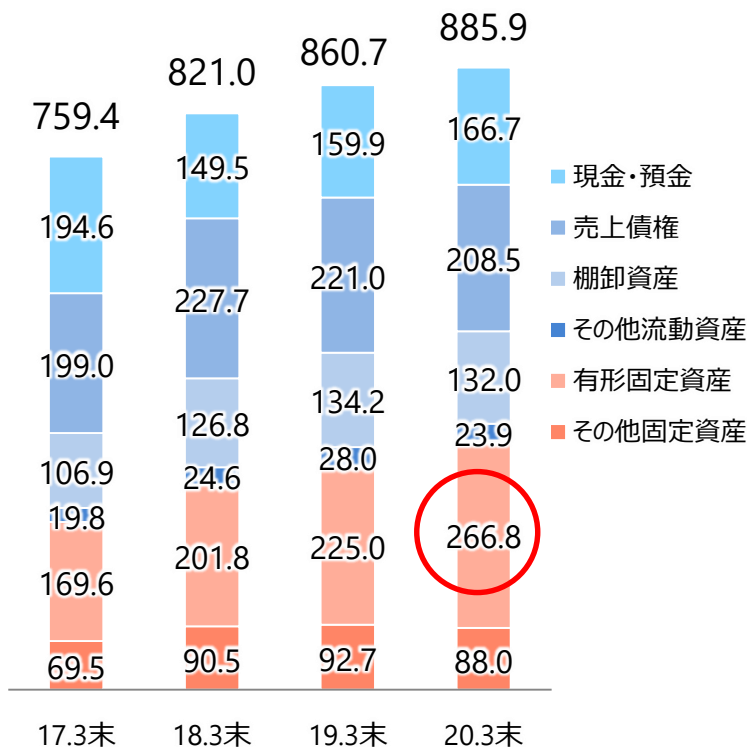
南北アメリカ



- ◆ 今後の成長投資と、新型コロナウイルスによる景況悪化への備えのため、適正な借り入れを実施
- ◆ IFRS第16号「リース」適用開始により、固定資産25.7億円・有利子負債26.3億円の増加

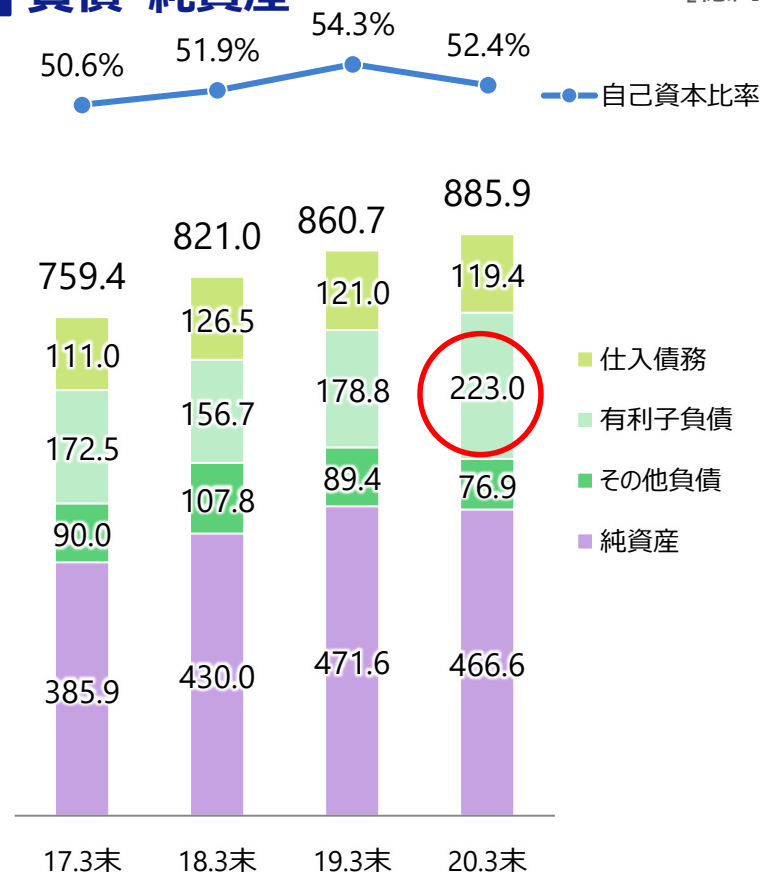
資産

[億円]



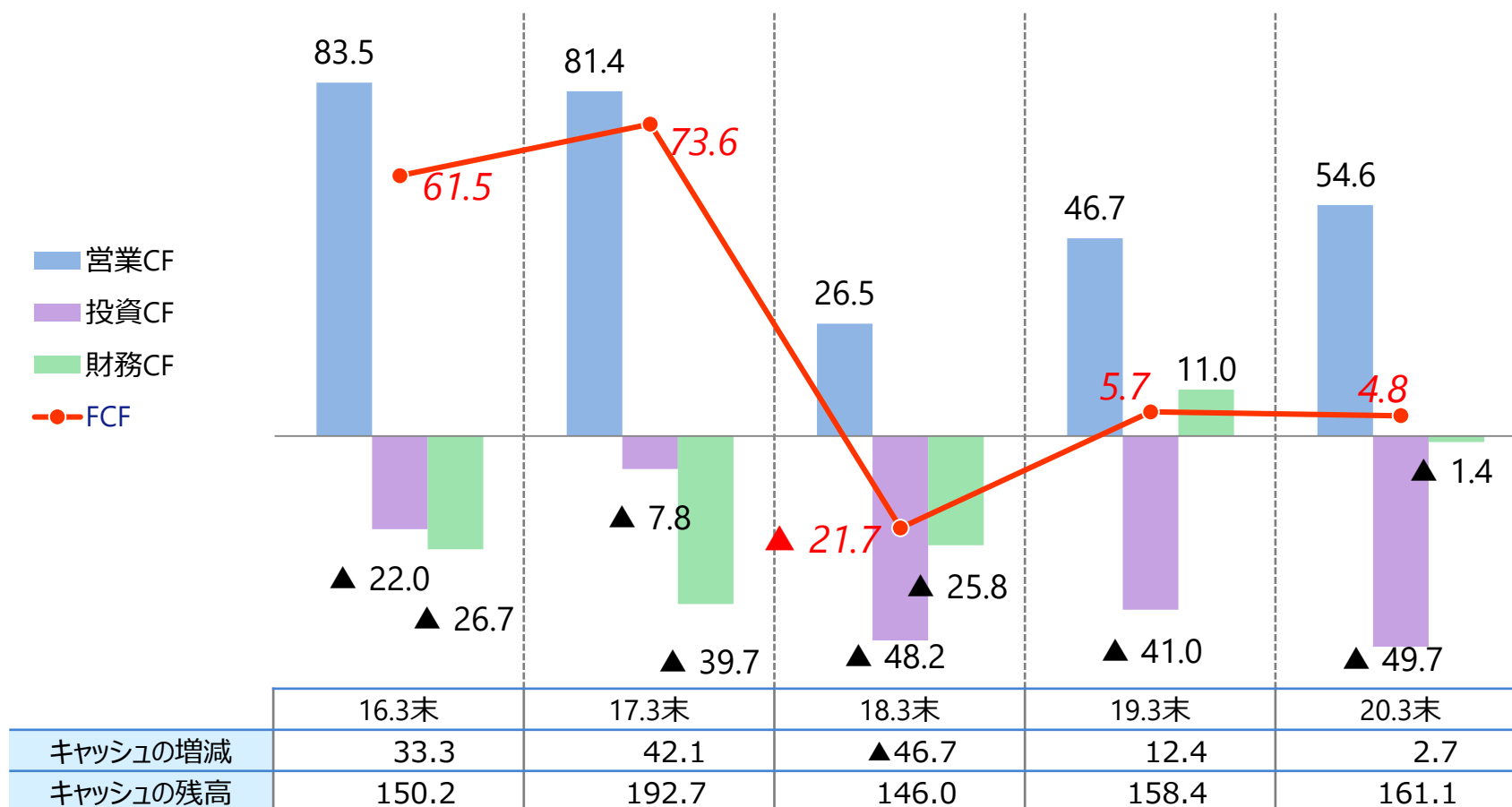
負債・純資産

[億円]



- ◆ 営業CF：売上債権・棚卸資産の増減額が増加から減少に転じた。リース会計適用による減価償却費増加
- ◆ 投資CF：前期は土地・事業売却などの臨時的な資金獲得項目あり。今期の固定資産の取得による支出は減少
- ◆ 財務CF：前期は工場建替などへの借入があったが今期は返済。リース会計適用でリース債務返済による支出増

[億円]



2. 2021年3月期 通期業績予想

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の収束を2020年6月末と仮定して、売上予想を設定
- ◆ 物流や生産におけるコスト面でのコロナ影響も大きい。変動幅が大きいので利益予想はレンジで開示
- ◆ 繰延税金資産の取り崩しにより、2020年3月期以降は法人税等調整額が増加して当期純利益が減少

※本資料の以降のページの営業利益・営業利益率はベストシナリオベースで記載

[百万円]

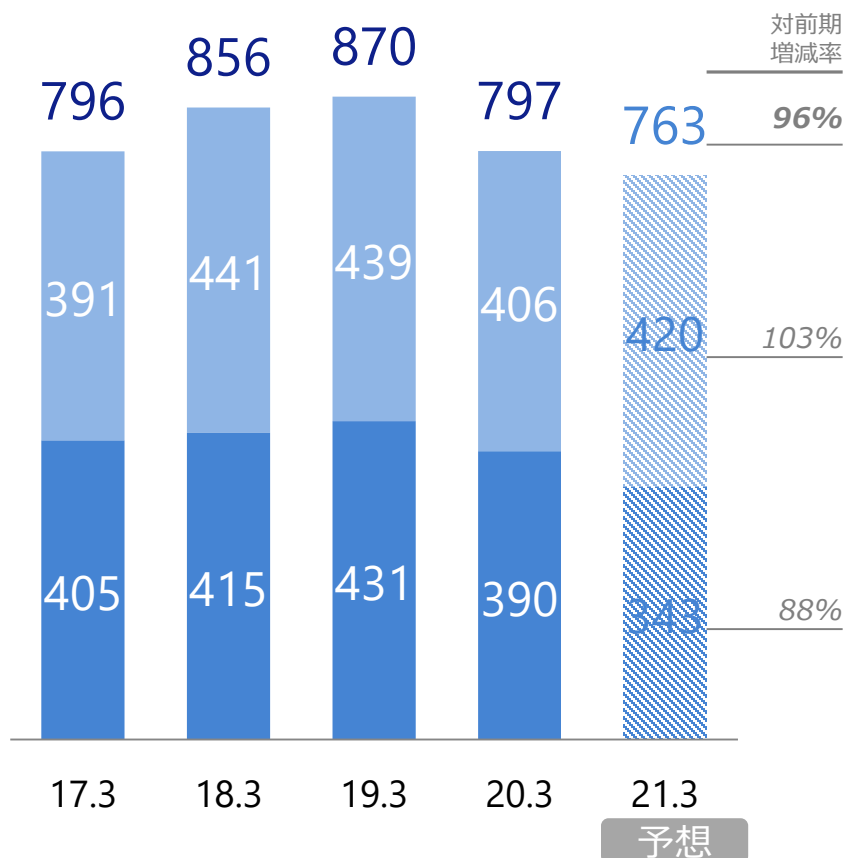
	2020.3期			2021.3期		
	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比
売上高	79,655	100.0%	▲8.5%	76,300	100.0%	▲4.2%
営業利益	2,289	2.9%	▲50.2%	2,000 ~2,300	2.6% ~3.0%	▲12.6% ~+0.5%
経常利益	2,510	3.2%	▲48.2%	2,000 ~2,300	2.6% ~3.0%	▲20.3% ~▲8.4%
当期純利益	1,024	1.3%	▲84.0%	500 ~800	0.7% ~1.0%	▲51.2% ~▲21.9%

為替 (円/米ドル)	期中平均	108.42	▲1.60	105.00	▲0.02
	期末	108.83	▲2.16	105.00	▲0.99

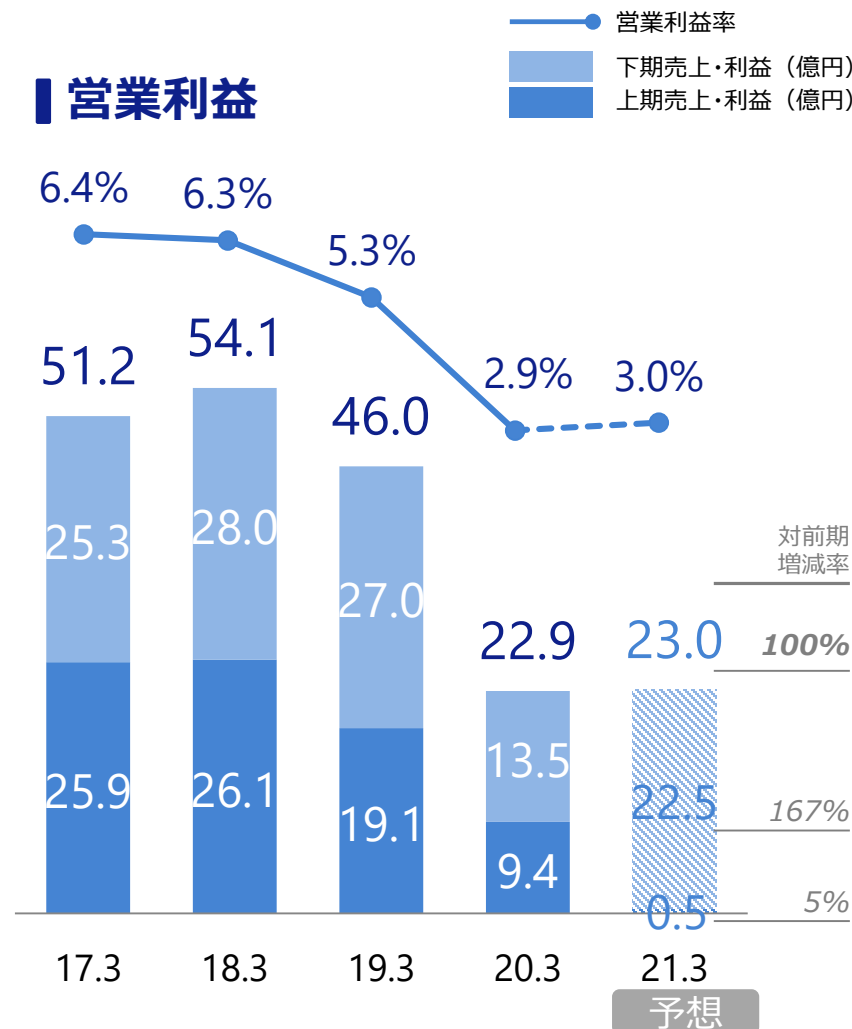
1株当り配当	10.00円	0.00円	未定	- 円
配当性向	80.1%	+67.3pt	未定	- pt
ROE	2.2%	▲12.1pt	未定	- pt

- ◆ 上期は新型コロナウイルスの影響で厳しい前提で予想。下期より本格回復を目指す
- ◆ 設備投資に関連する製品は先送りが続いていたが、下期からは売上が立つことを想定

売上高



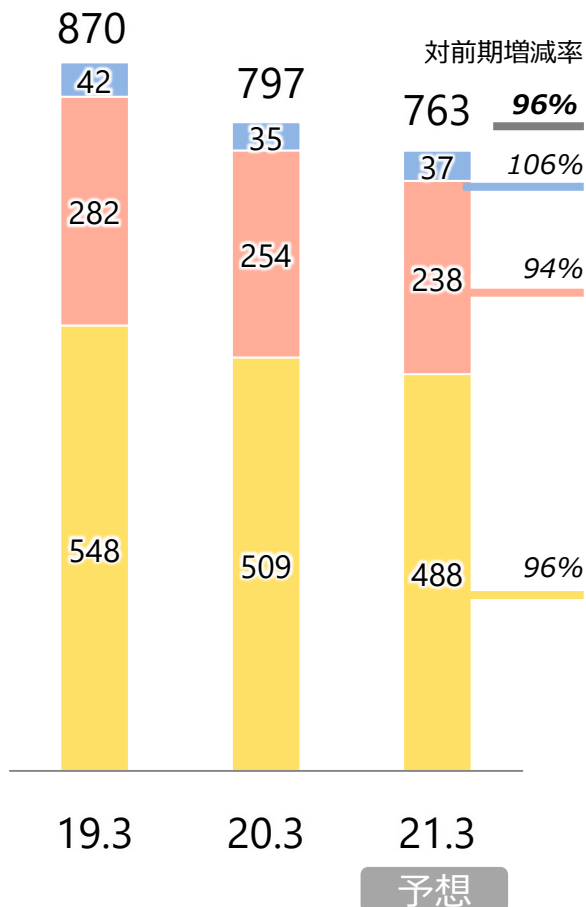
営業利益



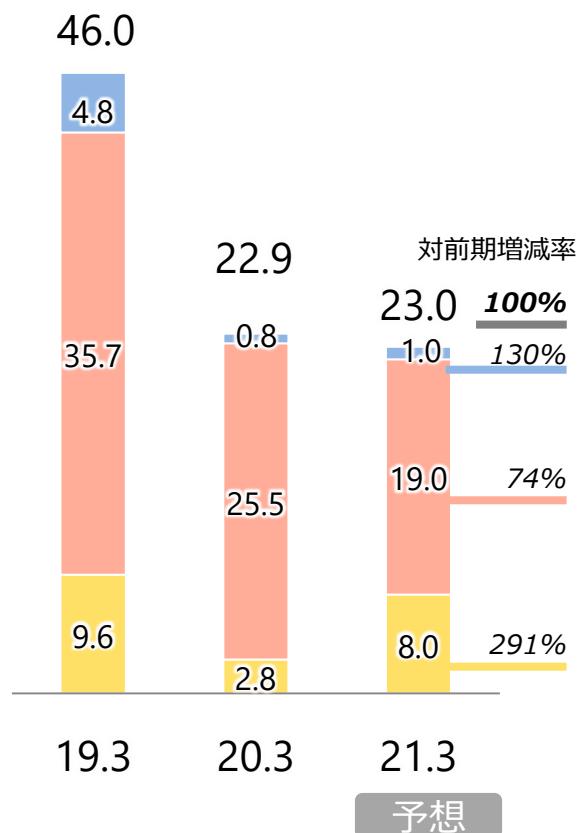
事業部門別の売上高・損益見通し

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

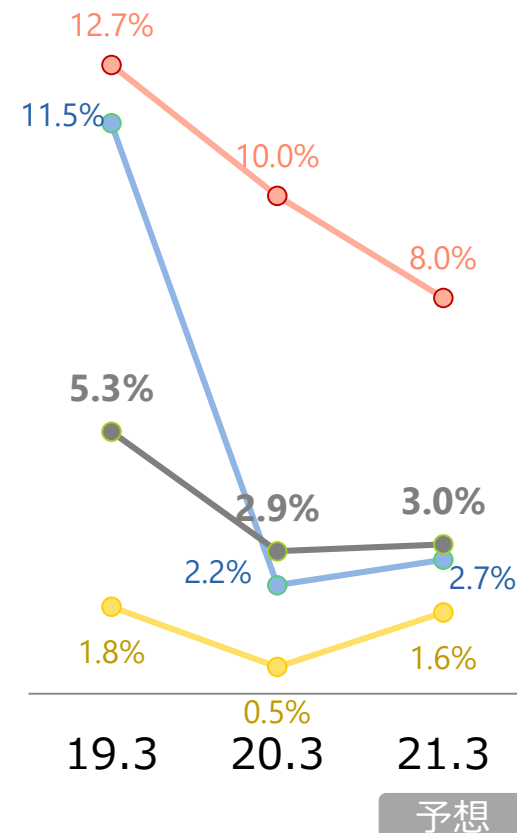
売上高



営業利益



営業利益率

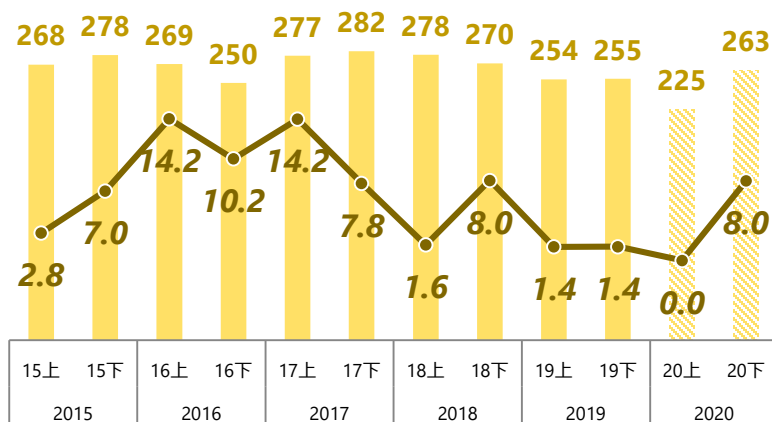


注: 連結消去 (主に全社未来開発費) により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

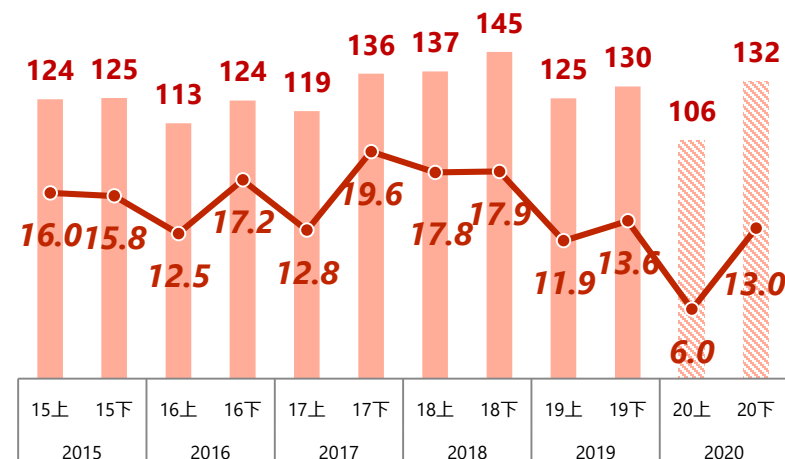
事業部門別の売上高・損益（四半期推移）

売上高(億円) 営業利益(億円)

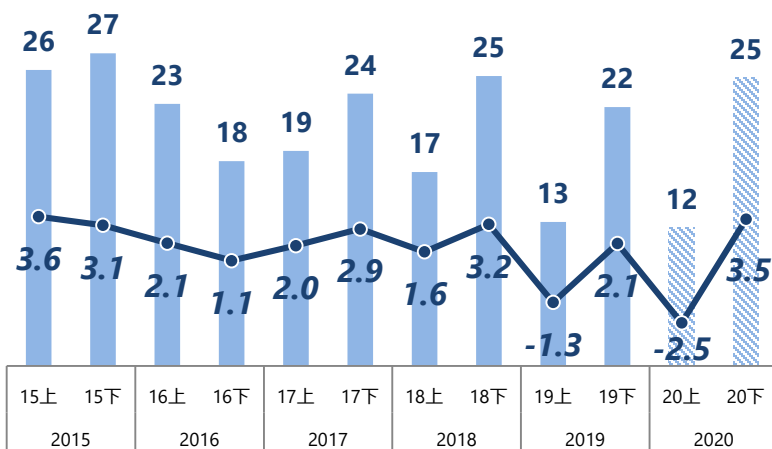
電子部品



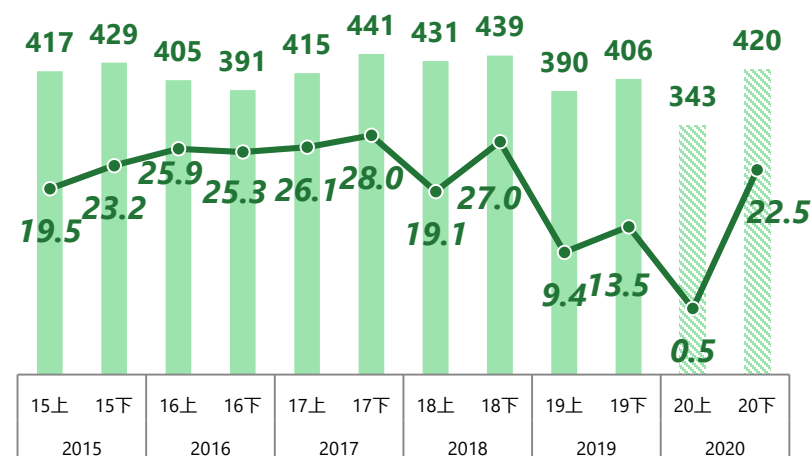
電子化学実装



情報機器

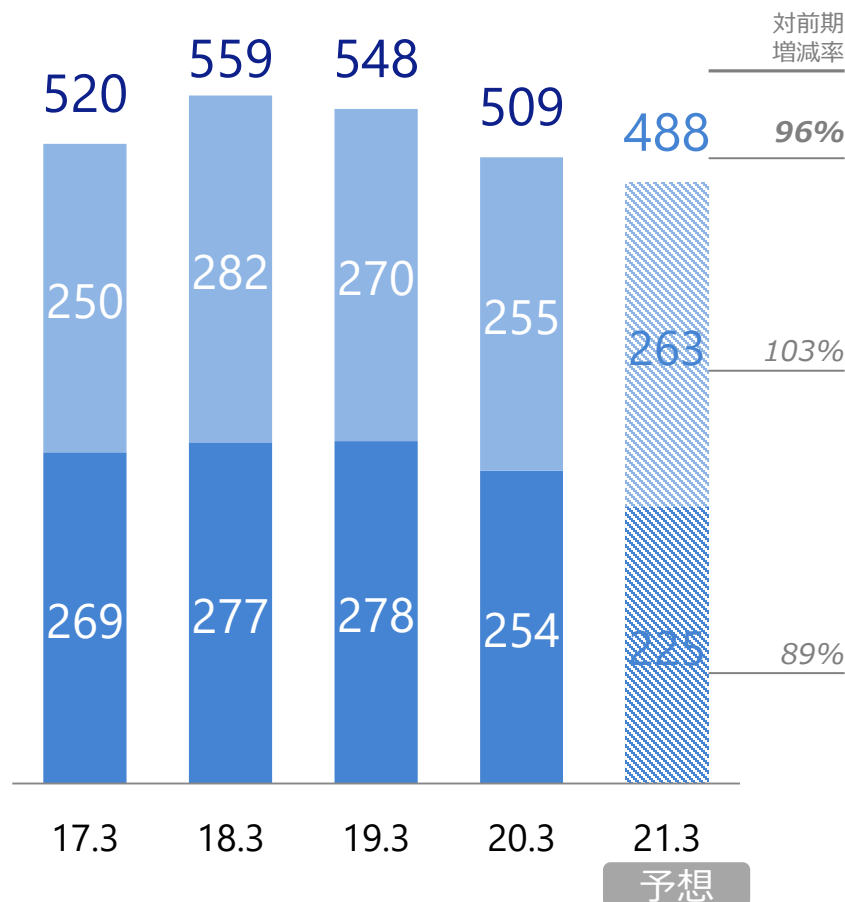


全社

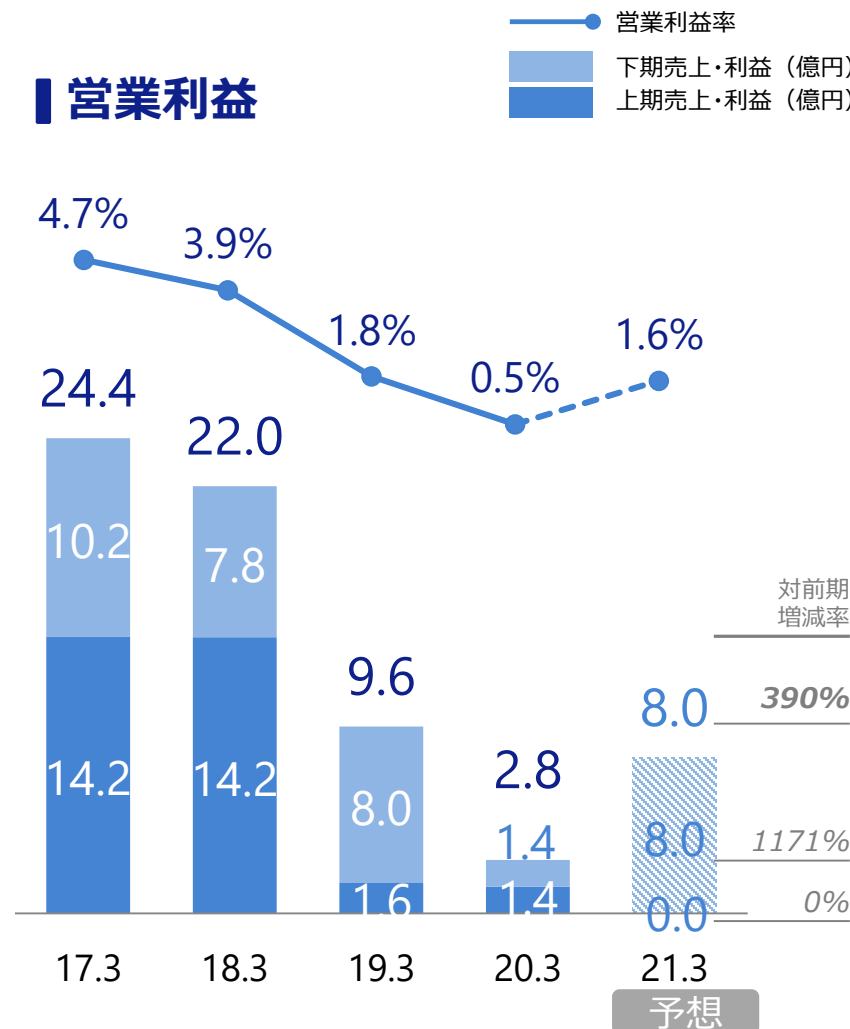


- ◆ 若柳新工場の車載用電子部品の新製品は通期寄与するも、従来からの車載関連製品は厳しい見通し
- ◆ 先送りとなっていた通信機能を搭載した自動販売機向けLEDモジュールは、今期の売上・利益貢献を見込む

売上高



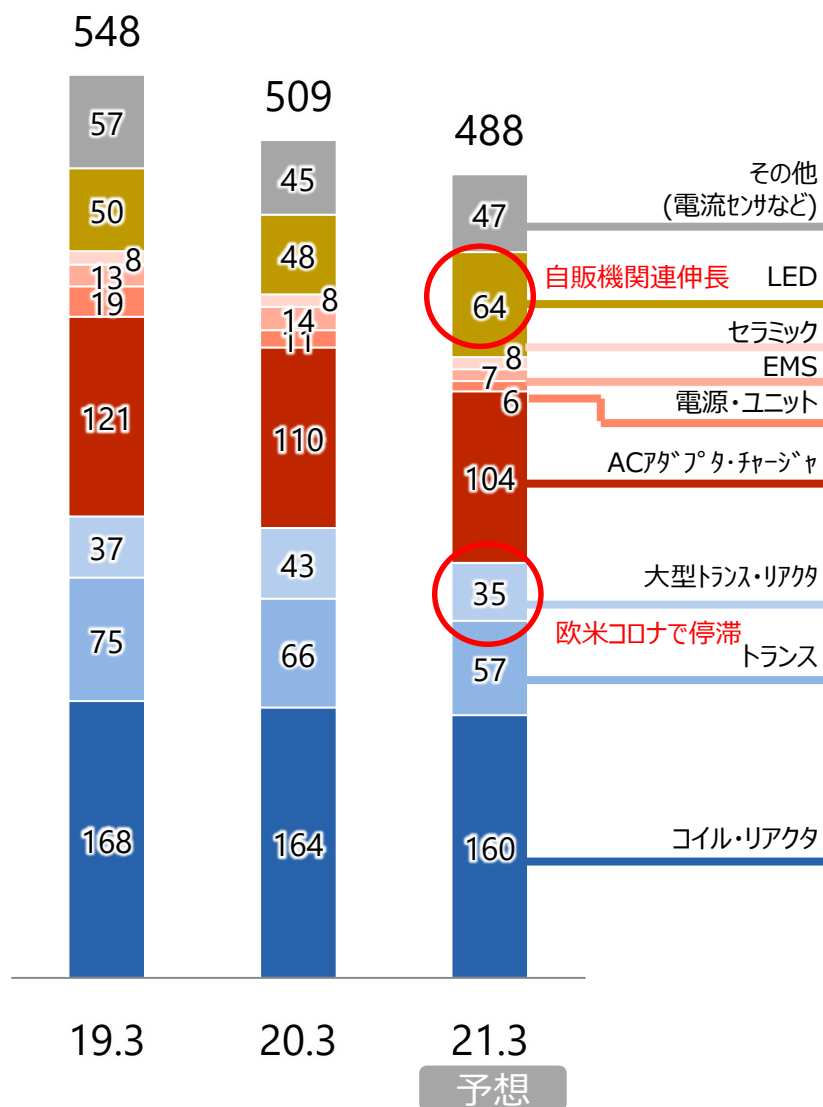
営業利益



【事業部門別】電子部品関連事業の見通し②

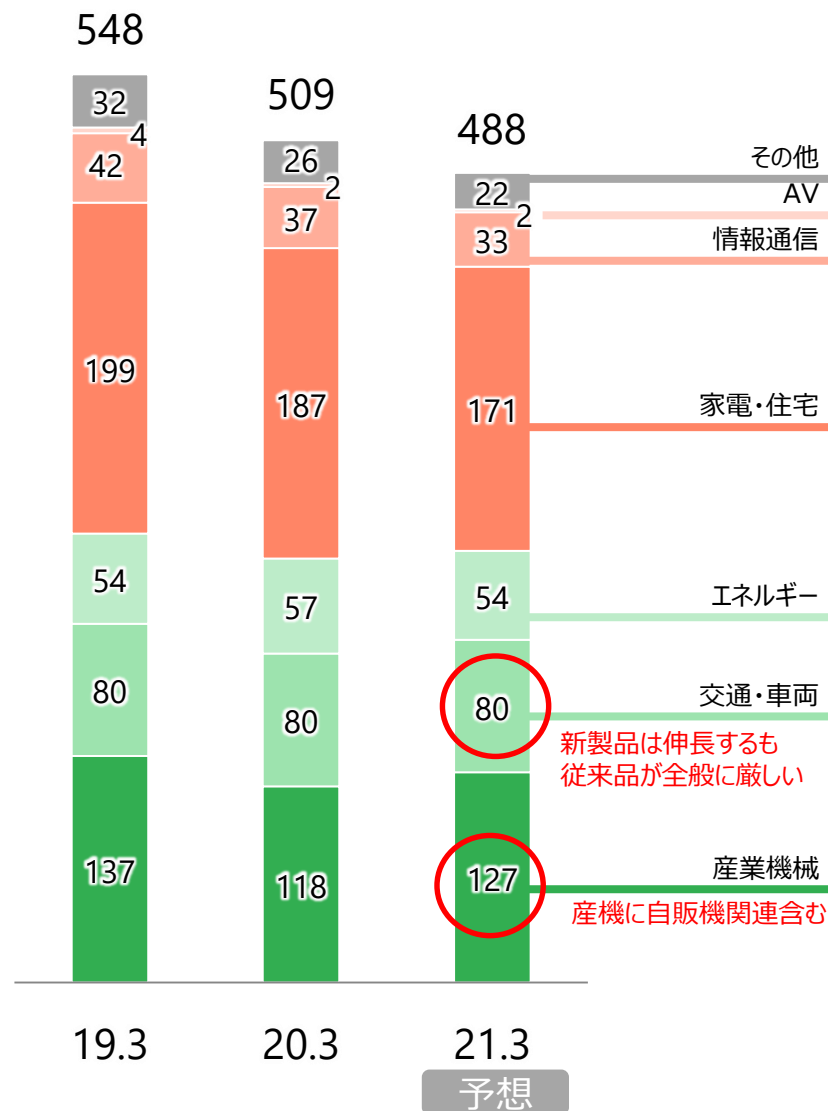
製品別 売上高

[億円]



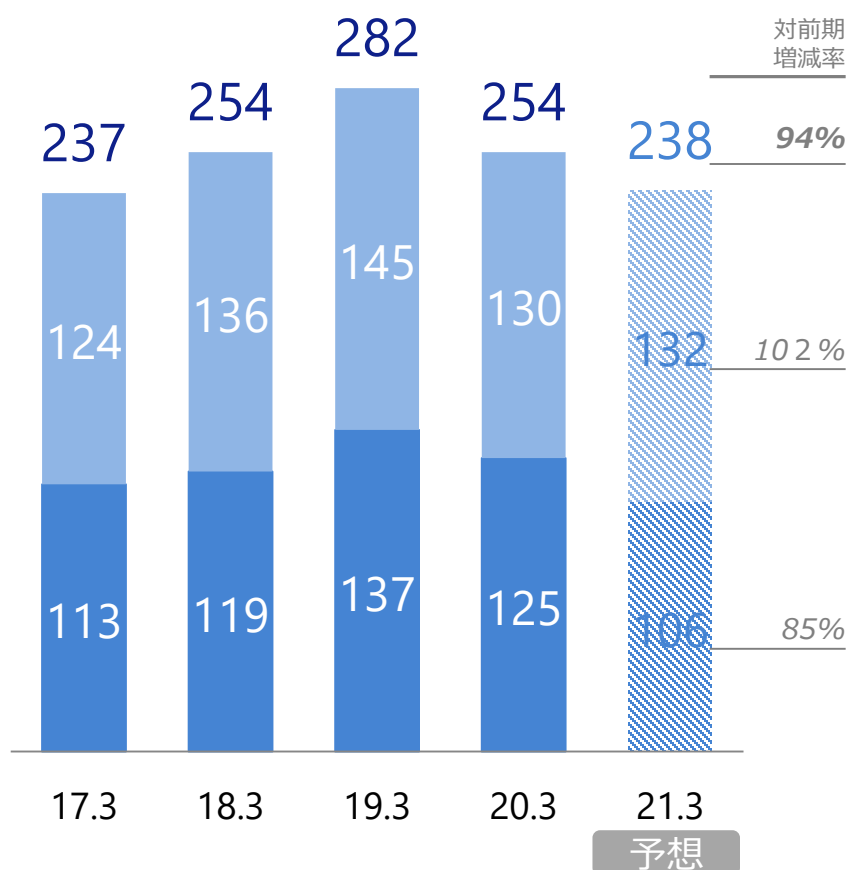
市場別 売上高

[億円]

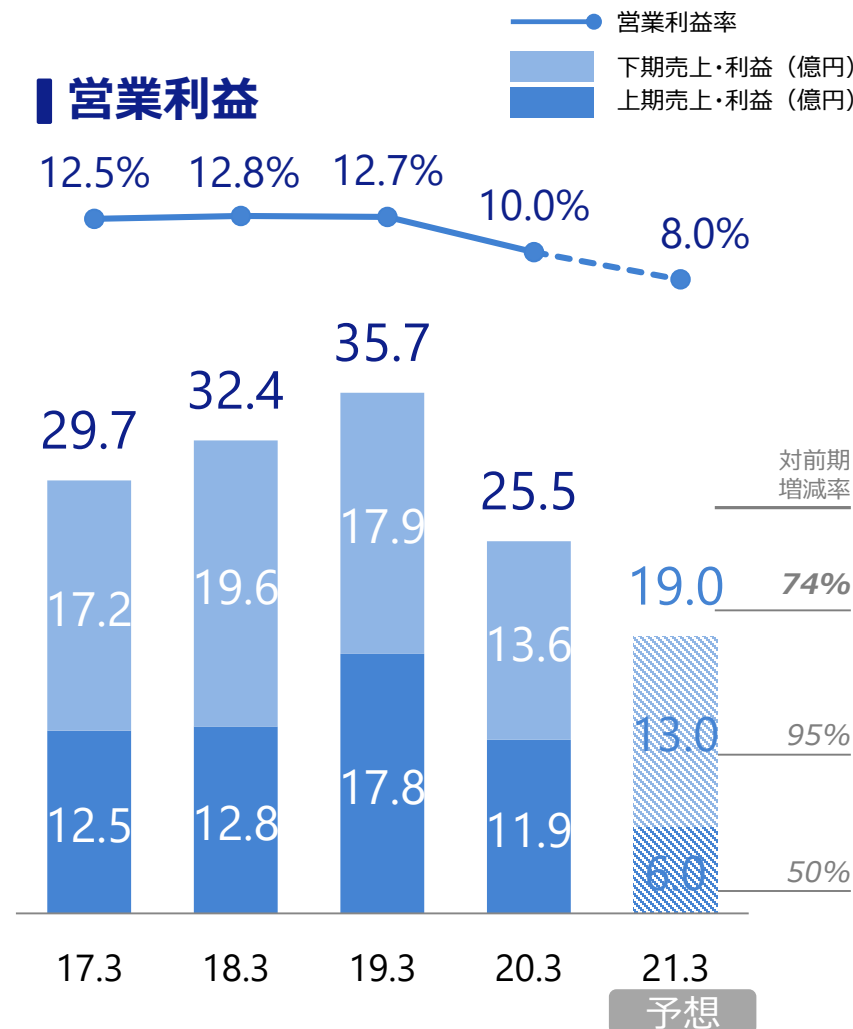


- ◆ 電子化学材料は5G関連の需要は見込めるものの、全般的には厳しい市場環境が継続することを予想
- ◆ コロナ問題で納品の先送りが続いたリフロー装置は、下期よりすみやかな回復を想定する

売上高

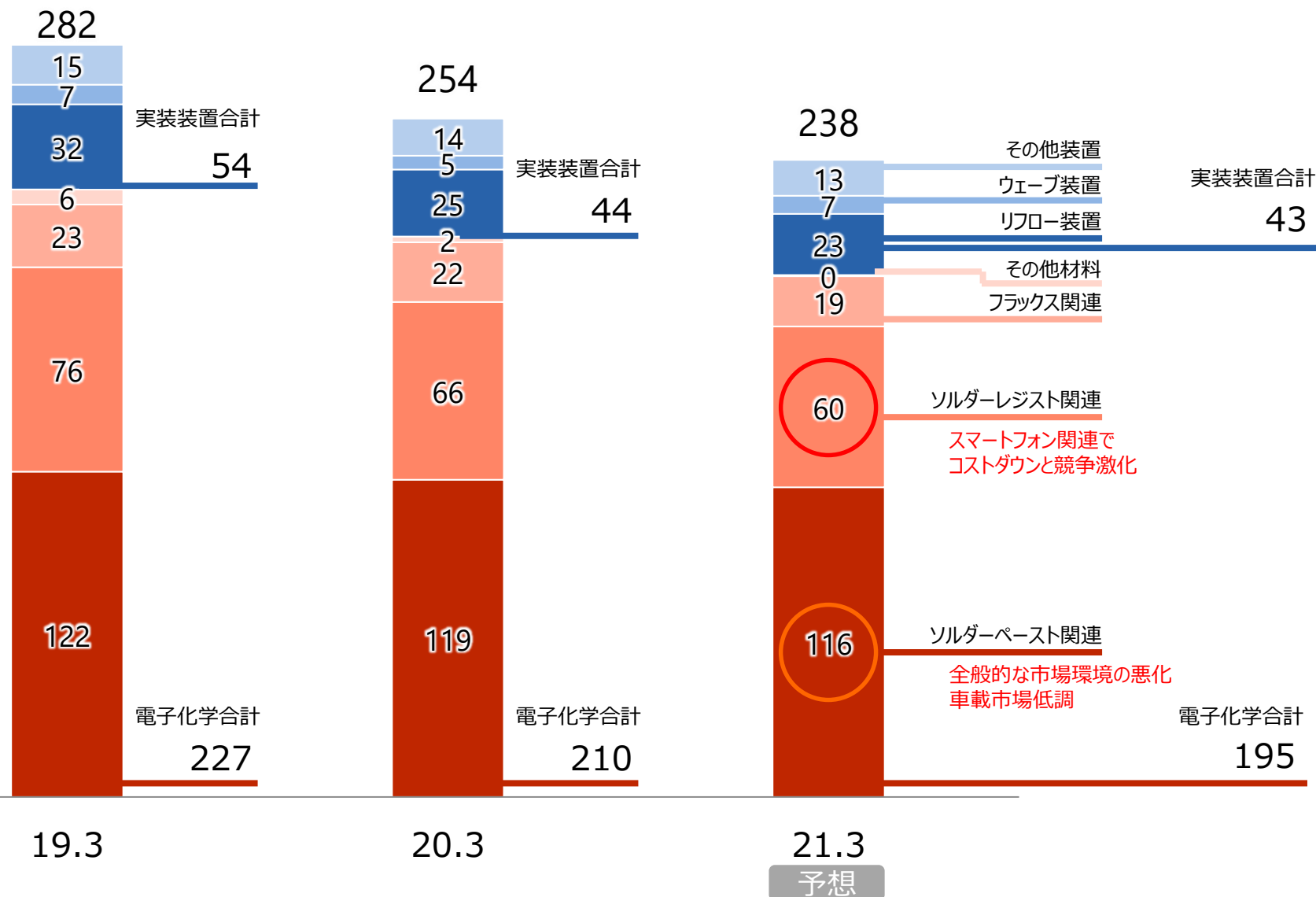


営業利益



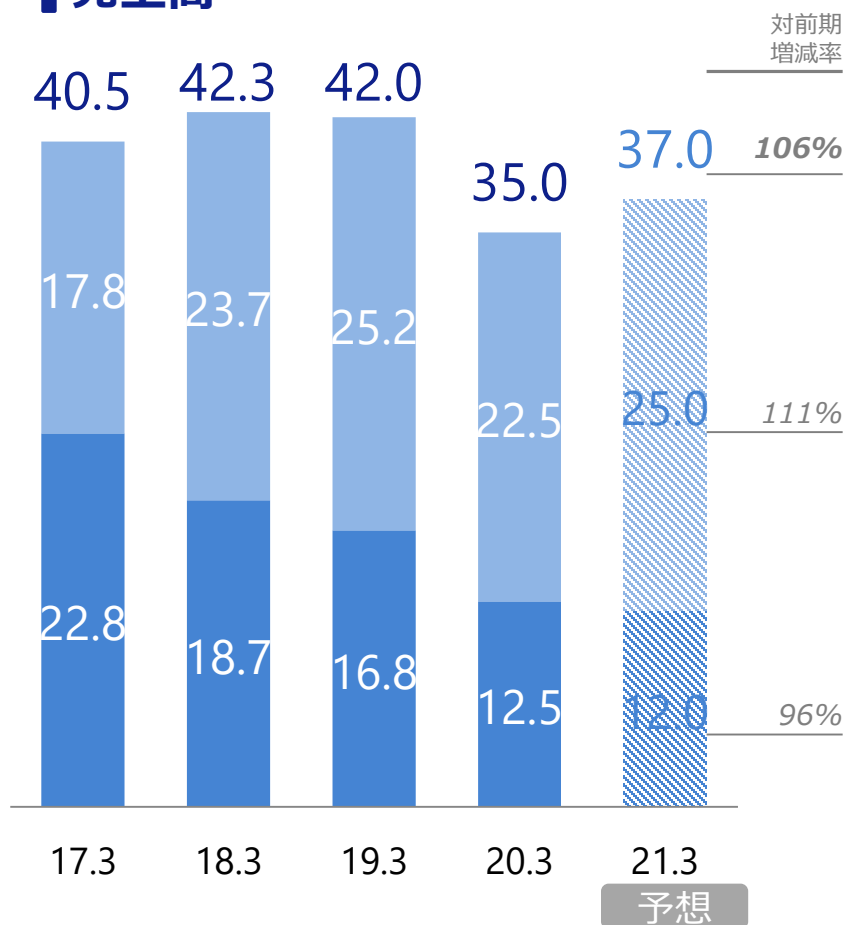
[億円]

製品別 売上高

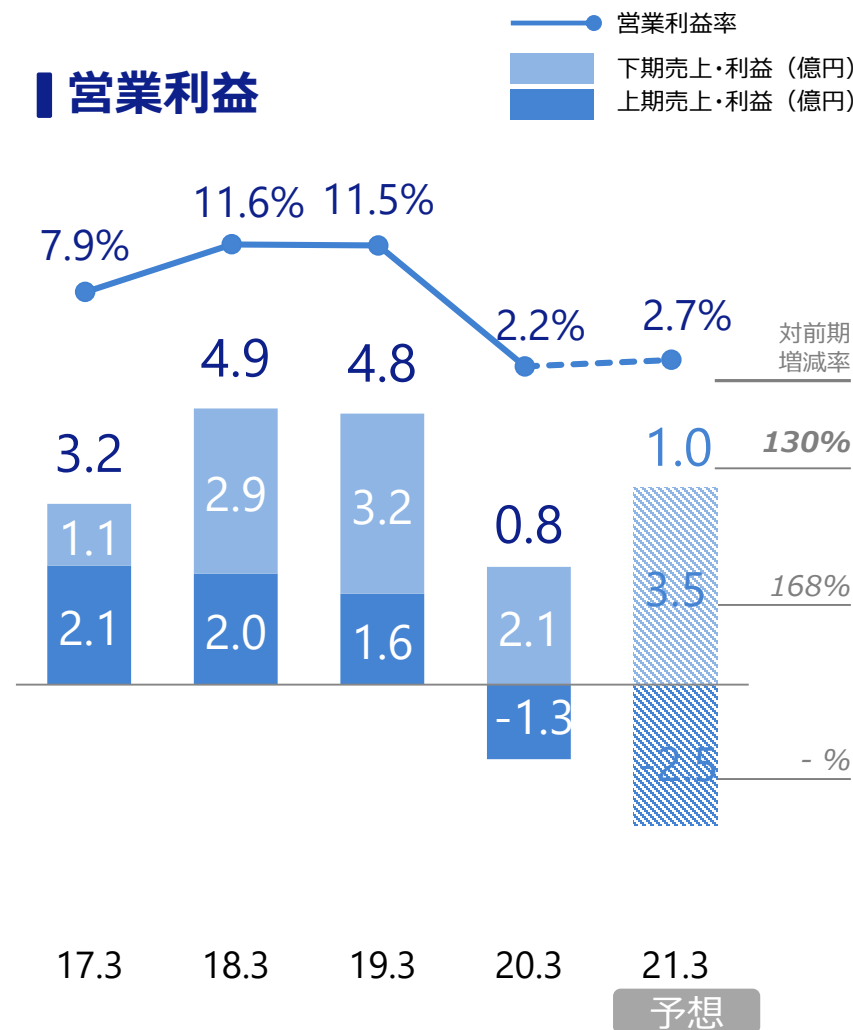


- ◆ 放送局をはじめとする取引先からの需要は厳しい基調が続くが、期末にまとまった売上を予想
- ◆ 将来的なニーズに対応すべく、音声卓のネットワーク化対応の開発を急ぐ

売上高



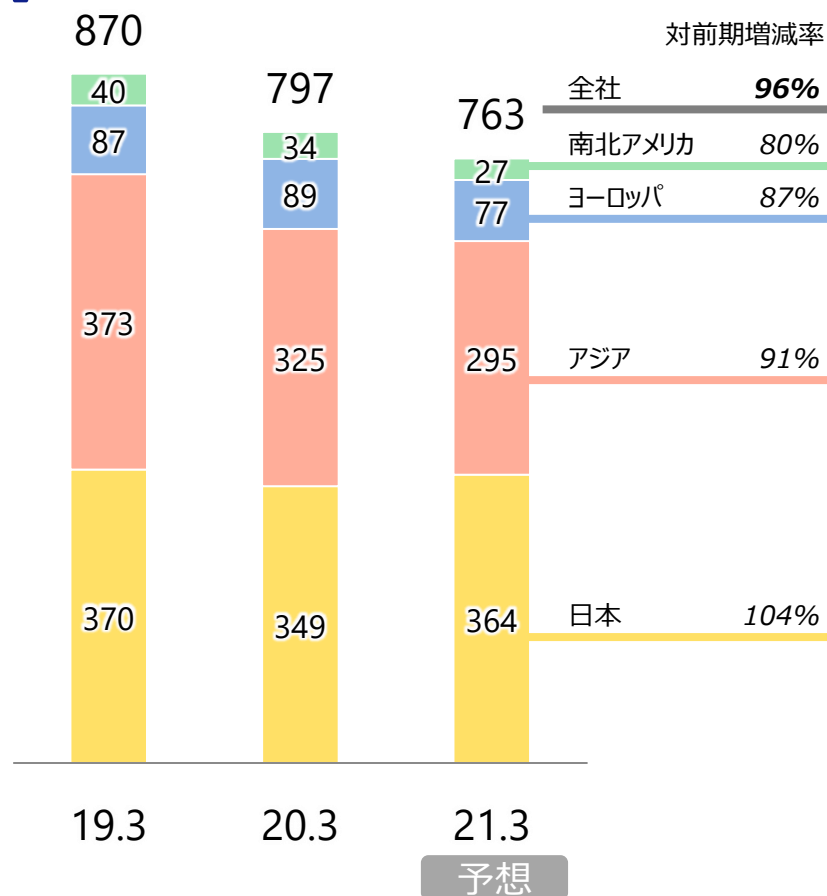
営業利益



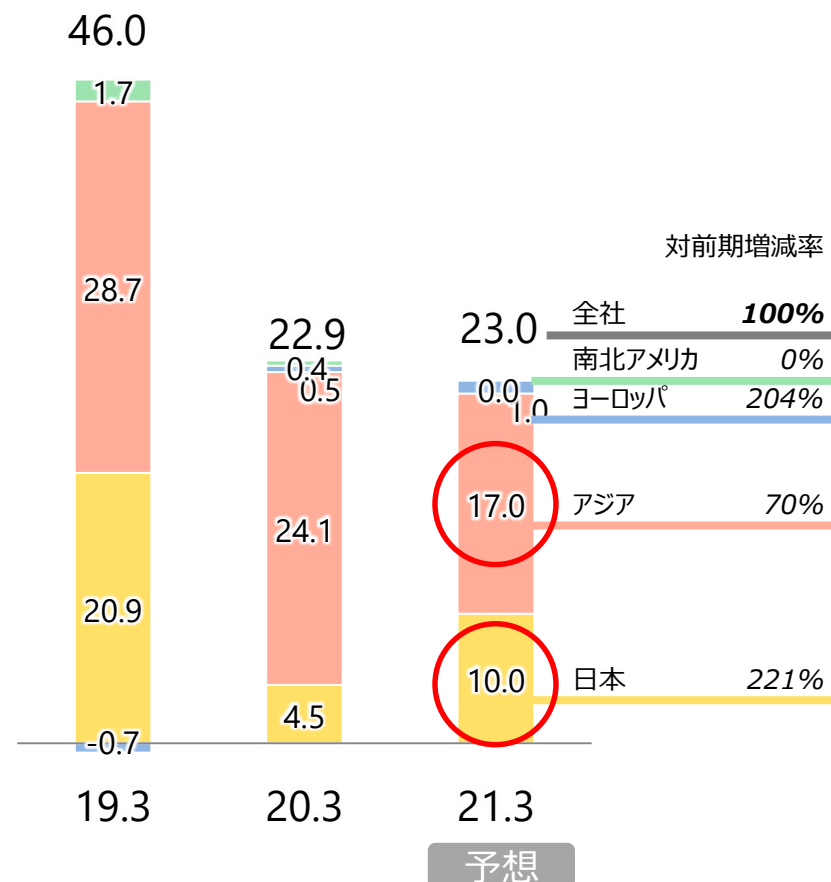
- ◆ 中国は3月からほぼ正常な生産活動を再開しているが、通常より弱い推移を予想
- ◆ ヨーロッパと南北アメリカも減収を予想。日本は自販機や放送機器の投資の戻りで収益確保を目指す

[億円]

売上高



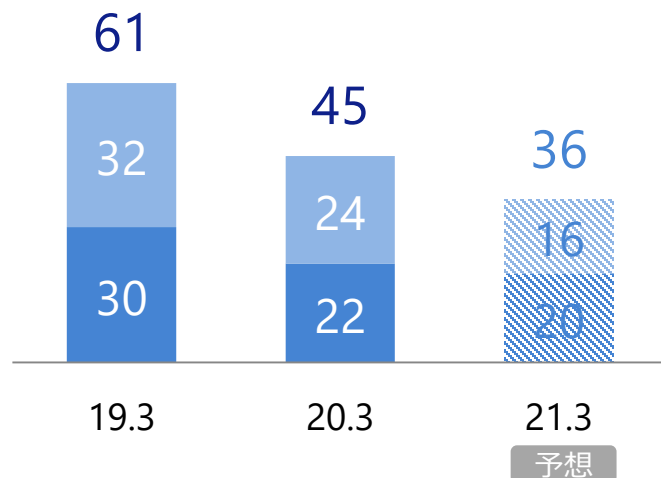
営業利益



注: 連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして地域別営業利益を表示しています。

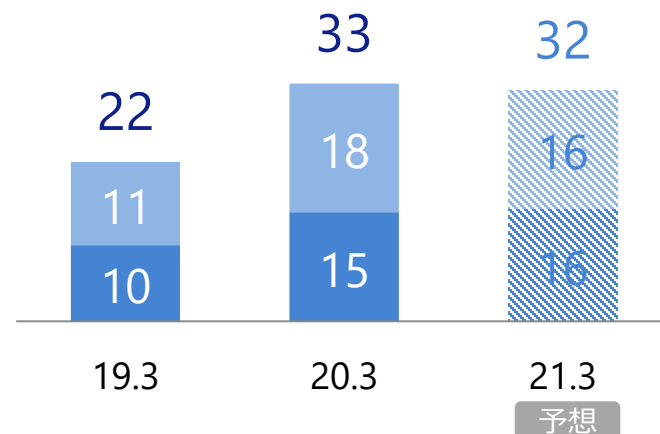
設備投資

※リースを含む

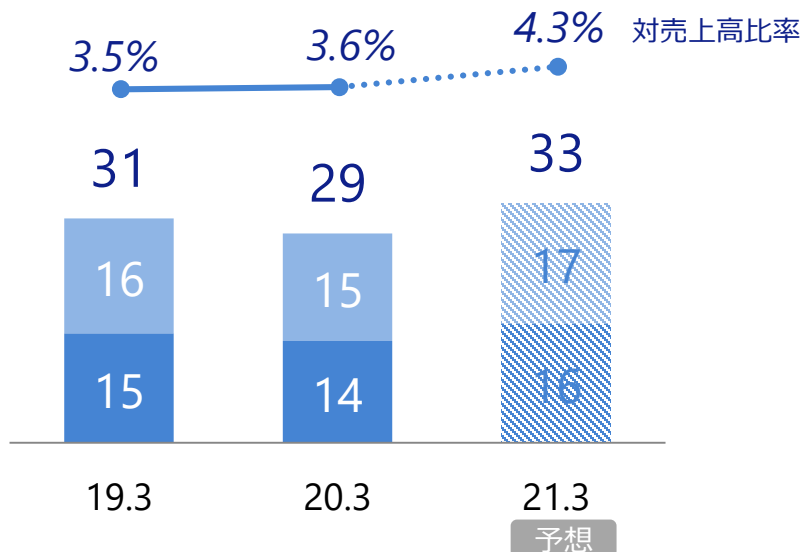


減価償却費

下期 (億円)
上期 (億円)



研究開発関連費用



主な設備投資

- 電子部品: 車載関連生産設備増強 (中国・坂戸)
- 電子化学実装: 国内外生産設備増強

主な開発投資

- 電子化学材料 新素材関連
- 車載用電子部品関連
- セミコン・結晶開発 (酸化ガリウム) 関連
- 音声卓 (ミキサー) のネットワーク対応

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

3. 新型コロナの影響と今後のビジョン

新型コロナウイルスの感染拡大により、罹患された方々、
困難な状況におかれている方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。
また、感染拡大防止のために、それぞれの立場で日々努力し、
社会に貢献されているすべての皆様へ、深く感謝を申し上げます。

■ 対応基本方針

当社は、地域社会の皆様、取引先様、当社従業員の健康と安全を最優先に考え、衛生管理の徹底、在宅勤務・輪番勤務の導入、電話・Web会議の活用など、感染拡大防止に向けた対応を、各国政府や地方自治体の方針に基づき実施しています。

■ 主なエリア毎の状況

日本	・2月初旬より本社に危機対策本部を立ち上げ 世界各地の拠点と連携して、事業継続をグローバルにコントロール ・ICTを活用した在宅勤務・輪番勤務・時間差勤務・オフィスのレイアウト変更などで、対人接触8割削減を目指しつつ、通常通りのお客様対応と業務遂行を実施。
中国	・春節休暇を延長して稼働を停止するも、2月10日より再開 ・3月以降は通常の稼働に戻っている ・セットメーカーの急な在庫確保の動きと、物流の乱れでコスト面は一時的に悪化
その他 アジア	・マレーシアは3月中旬から4月にかけて、政府通達に従い稼働を停止 地産地消の製品が多く、取引先も非稼働につき大きな問題は生じていない ・バングラデシュもコロナ対策で輪番勤務で工場稼働。中国や日本で生産サポート
欧米	・イタリア設計事務所は在宅勤務 ・チェコ工場は通常稼働継続 ・ドイツ工場は稼働。工場で製造したアルコール消毒液を社外に提供。 ・メキシコ工場は、政府通達に従い4月に稼働を停止

■ 中期経営計画

- ◆ タムラグループは長期ビジョンとして創業100周年（2024年）とその先に続く持続的な成長を見据える中期経営計画を、新社長による新たな経営体制で2019年4月にスタートしました。

- ◆ 本中期経営計画は、国際社会の共通目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」達成に向けた取り組みを基軸とします。事業活動を通じて、社会に貢献していくことで企業価値を向上し、社会的課題の解決に向けて、新たな価値創造に取り組んでいます。



- ◆ コロナ問題により高まる**新たなテクノロジーへの期待**や、「**新しい生活様式**」への**変化**は、当社が描いた長期ビジョンを、一段と早く現実に導くものと認識しております。

世の中の期待

世界の
持続可能な発展

エコテクノロジーによる
社会的問題の解決

ダイバーシティ

働き方改革

タムラの“ありたい姿”

財務

100周年とその先に続く
持続的な成長

顧客

魅力ある製品
感動を与える製品

業務

グローバル！

人材

人が憧れる会社
人が集まる会社

企業の運営

適正収益確保

製品・市場
の見極め

組織・人材
最適配置

業務効率アップ°



SDGsの深化

顧客 の視点

エコテクノロジーによる社会的問題の解決

多様な製品を扱う当社グループですが、中期経営計画では今後大きな成長が期待される「**車載**」「**パワーエレクトロニクス**」「**IoT・次世代通信**」に注目し、グループの総力を挙げてOneタムラの力で取り組みます。コロナ問題は、こうしたニーズを急速に加速させています。

コロナにより
加速した
ニーズ

タムラの
製品・技術

車載

安心安全な
交通や物流の実現

- 昇圧リアクタ・コイル
- 充電器用リアクタ
- 電流センサ
- 車載用溶剤ペースト
- 車載用溶剤レジスト
- 車載用リフローはんだ付装置

パワーエレクトロニクス

クリーンエネルギー
の安定供給

- 大型トランス・リアクタ
- ゲートドライバ
- 酸化ガリウムパワー半導体
- パワーデバイス用
- 無残渣ペースト

IoT・次世代通信

人と人をつなぐ技術
リモートワークの実現

- 自販機用金額表示器
- 人感センサ（見守り）
- フレキシブル基板用リターレジスト
- レーザーはんだ付ペースト
- 可逆伸縮性接合材
- 実装装置のスマートファクトリー対応
- 4K・8K音声卓
- 音声装置のネットワーク対応

業務
の視点

人材
の視点

DX（デジタルトランスフォーメーション）による 働き方改革とダイバーシティの実現

- ◆ 当社グループはこれまで世界の9割以上の拠点到共通のI Tシステムを導入し、製販一体の連結原価管理を進めております。
- ◆ その発展形として、多様な働き方に対応するI Tシステムを構築し、**従業員のワークライフバランスと企業活動を共に発展**させる取り組みを中期経営計画で進めております。
- ◆ 具体的には、モバイルアクセス・データ共有システムなどのI C Tインフラ整備により、勤務場所・勤務時間の自由度を高める取り組みです。本件は2019年の年初より構築を始めておりましたが、コロナ問題の発生により当初予定より完成を早めて実施運用する運びとなりました。
- ◆ 対人接触削減対策のみならず、育児や介護における在宅勤務での活用、W e b 会議による海外スタッフの参加、取締役会における社外役員の出席など、急速に広く利用が進みました。これを機に、新しい働き方を定着させ発展させてまいります。

IT経営注目企業
2018に選定

タムラグループの事業領域



関わりの深い社会課題

- 脱炭素社会の実現
- エネルギー・資源の保全
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 自然災害への備え
- 超高齢社会への対応
- 地域社会との共存

第12次中期経営計画

》》P.04

Biltrite Tamura

The 12th Mid-term Plan 2019-2021 & 2024

GROWING ANEW

経営理念

MISSION

私たちは タムラグループの成長を支える全ての人々の幸せを育むため、世界のエレクトロニクス市場に高く評価される独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます。

VISION

GUIDELINE

タムラグループ行動規範

■ SDGsの基本方針(タムラグループ行動規範)

持続可能な社会の実現とタムラグループの持続可能な発展を両立させることが、タムラグループの社会的責任(CSR)であると捉え、SDGsを社会的課題に関する世界の共通言語として認識し、SDGsがもたらす事業機会とその達成に向けて企業が果たすべき責任を理解するとともに、製品・サービス・技術と事業活動を通じて社会課題の解決に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



タムラの社会価値

事業を通じた価値創造

- 製品・技術・サービスの提供を通じて、
- 環境対応車の普及、安全快適な走行を支えます
 - 次世代の省エネ社会を支えます
 - 近未来のネットワーク社会を支えます

戦略市場 》》P.14

- ◆ 車載
- ◆ パワーエレクトロニクス
- ◆ IoT・次世代通信



価値創造を支える取り組み

Environment 環境



- 省エネ・CO₂排出量の削減
- 省資源・廃棄物の削減
- 環境負荷物質の削減

Society 社会



- 品質改善による顧客価値向上
- グリーン調達・CSR調達推進
- グローバル人材育成・ナショナルスタッフ積極登用
- 安全な職場と適正な労働環境の整備

Governance ガバナンス



- 新経営体制への移行
- コンプライアンスの強化
- 適時適正な企業情報の開示



持続可能な社会の実現

タムラグループの持続的な成長



【付録】 参考資料

資本金：11,829百万円
連結従業員数：4,753名
連結売上高：79,655百万円
東証一部上場
代表取締役社長：浅田昌弘

売上高：2020年3月期実績
従業員数：2020年3月末現在



1924年創業

「田村ラヂオ商会」



音を極める！



1924年～

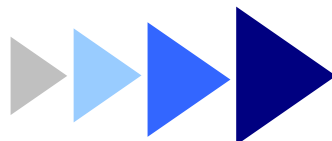
ラジオ、蓄音機の製作・販売



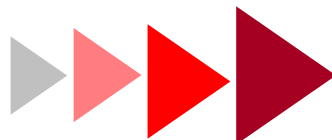
1930年～

トランスの自作化

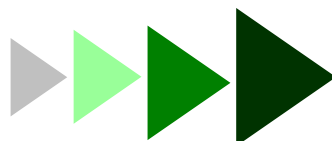
トランスを極める！



接合技術を極める！



いい音（信号）を極める！



電子部品関連



- 1956年～ 磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 2008年～ LED関連製品
- 2009年～ 車載用リアクタ
- 2010年～ 大型トランス

電子化学実装関連



- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リリグ-ペースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置
- 2010年～ FPC用レジスト

情報機器関連



- 1961年～ 放送用音声卓
- 1962年～ ワイヤレスマイク
- 1976年～ 伝送監視装置
- 2003年～ デジタル放送設備
- 2015年～ 8K向け音声卓

航空・宇宙で

航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性で社会に貢献しています。



トランス・リアクタ

灯台で

超高輝度で、高い直進性が求められる灯台の光源を省エネルギー化、長寿命化し、メンテナンス性を向上します。



パワーLED

駅で

発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。

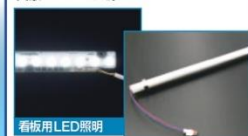


LED式電光掲示板

ワイヤレスマイクシステム

コンビニや店舗で

店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。



看板用LED照明

ショーケース用LED照明

街の自動販売機で

表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。



金額表示器

商品選択ボタン

放送局で

視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の無線システムです。



音声調整卓



DECT規格インターカム



OFDMデジタルワイヤレスマイク

エコカーで

高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。



車載用リアクタ・コイル



ソルダーレシスト



ソルダーペースト

スマートフォンやタブレットPCで多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。



PAFフレキシブル基板向けソルダーレシスト



導電性接合材



黒色吸収材

風力・太陽光発電・インフラで

再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。



大型トランス・リアクタ



電流センサ



ゲートドライバモジュール



電源モジュール



導電性接合材



白色反射材



フラックス

工場で

ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。



電流センサ



ゲートドライバモジュール



電源モジュール



トランス・リアクタ



はんだ付装置

家庭で

エアコンやパソコンの省エネに寄与する部品、エアコンと組み合わせて人の活動状況を見守るセンサです。



電流センサ



電源モジュール



リアクタ



人感センサ



Bilriteとはタムラ創業期の製品である電気蓄音機・アンプに使用され、特に高級品、高品位品に付けられた由緒ある商標です。現存するカタログとして最も古い昭和12年発行のカタログ第3号の冒頭に、次のようなコメントが記されています。

「当製作所の製品にはBilriteの商標を付けてあります。是は製品に対して絶対的に責任を持つ意味であります。御買求めに際し、Bilriteの商標は品質に対する一種の保険証書として御承知置き下さい。」

本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所 経営管理本部
TEL : 03-3978-2031



Your One and Only Company